京城日報

廿六日夕刊

定價　本紙一部金四錢　一ケ月金六十錢　三ケ月金一圓七十錢　六ケ月金三圓三十錢
廣告料　一行金四十錢(五號活字)　一行金三十錢(六號活字)
發行兼編輯人　奥田直毅
印刷人　阿口政太郎
發行所　京城太平通一丁目　合資會社　京城日報社
電話　編輯局(三六)　營業局(二二)
振替貯金口座京城三〇〇番

◎袁總統の退位を請求す

香港來電に依れば雲南政府は帝政取消の電報に接せるも袁氏の退位を要求し其れ迄は兵を止めずと聲言せり(上海電報)

◎英獨海戰酣也

アムステルダムよりの報道に依れば英國海峽方面に當り殷々たる砲聲と共に閃々たる砲火起り同方面に於る英獨艦隊の海戰今や酣なるを示しつゝあり(紐育電報)

◎ゼ號獨艇に襲擊さる

フォークストーン來電に依ればゼックス號は獨逸潜航艇の襲擊を受けたるものなりと報ぜらる同船は二十四日午後二時英國フォークストーンを出發し午後四時二十分佛國海岸沖に於て遭難せり此の日天氣晴朗海上平穩乘客は米國人船客三十名を合せて三百八十六名乘組員五十名あり驅逐艇其他の船舶救助の任に當り乘客の大部分は救助され佛國に上陸せり(倫敦電報)

◎滿洲の日語普及

滿洲において支那人の間に年次日本語の普及を見つゝあるは帝國の滿洲經營上喜ぶべき一現象なるが滿鐵經營の日語學校及び公學堂を卒業したる者は過半滿洲に在りて支那側の官衙又は商事會社等に入込み一方日本側の官衙會社銀行商店等にも傭はれ通譯を兼ねて各々の事務に執掌し居るのみならず近來は支那當局においても滿洲における日支人接觸の頻繁を加へ來れる今日成るべく日本語を知らしむるの必要ありとて鐵嶺又は營口の小學堂にては其の學科目の中に語學科を置き既に日本語を教授しつゝあるが他の地方の小學堂にも本年より日本語教授を開始すべく決定し目下その準備中なり而して其の日本語教師は今日のところ主として滿鐵公學堂を卒業したる自國人を以て之れに充て居るも行く〳〵は日本人を各學堂に一名乃至二名位語學教師とし傭聘し地方子弟の間に日本語の普及を計るといふ(大連)

◎滿鐵農業殖民

滿鐵會社は滿洲農業殖民の目的を以て土地放貸、蔬業經營、其他の農事と共に沿線附屬地内の土地に對し滿洲守備隊兵士の内農業に智識經驗ある者を選拔し之をして其の墾耕の事に當らしめ居れるが本年も六月に滿期となるべき滿洲獨立守備隊の下士卒中人選の上之を其の農耕地に配置する筈にて既に三十餘名の志願者あり此中より先づ五名位選拔し一人當約六萬坪の土地を貸與すべく目下籌議中なり滿鐵の此の農業移民は都督府の如き沿線附屬地の一部に限らるゝ事とて規模固より小なるも都督府の經營に係る金州大魏家屯の農業移民に比すれば手段方法宜しきを得る爲め健實に發達し其の農業者は滿鐵保護の下に何れも相當の成績を擧げ熱心墾耕に從事し居れり(大連)

◎總督長官訪問

寺内總督は目下入京中なる第三艦隊司令長官村上中將其他を訪問の爲め二十六日午前九時半大藤副官を隨へ自動車にて朝鮮ホテルに到り村上中將其他と會談し約三十分間の後官邸に歸れり

◎司令長官動靜

仁川に入港中なる第三艦隊司令長官村上中將の一行十餘名は二十五日朝鮮ホテルに投宿し二十六日は午前寺内總督の訪問を受け其より四臺の馬車に分乘して市内を巡覽し正午發の汽車にて仁川に向ひたり

◎黒鉛電氣製錬
新安州鑛業の發展

時局の影響により製鋼用黒鉛の需要は頗る增大し内地鐵工業者に供給する朝鮮斯業者は頗る好景氣なるが平南新安州福井黒鉛鑛業所にては昨年まで平北江界郡化京面に於ける一箇所の經營なりしも一昨年來前途事業の好望を見越し鋭意探鑛の結果平北熙川郡に三箇所朔州郡に一箇所の黒鉛大鑛脈を發見し既に地所買收の上總督府より採掘許可ありしより今春解氷と同時に業務の擴張を企圖しつゝあるが何分新安州は西鮮に於ける鱗狀黒鉛唯一の輸移出關門にて幸ひに大倉發電所の強力送電を受け得る便宜あるに付從來の粗製黒鉛を電力に依り製煉すべき設備を施し昨今福井氏主となり製煉機械据付中なれば今後内地製鋼業の發展に伴ひ西鮮の黒鉛業は一層現狀より飛躍すべし(新義州)

◎蔘苗移植檢査

五年度に於ける蔘苗檢査は四月一日より十一日まで專賣課開城出張所構内に於て執行の事となれるが本年は餘寒嚴しかりし爲め之れを前年に比すれば多少の遲延を見たり而して五年度の苗圃は卷直苗圃二萬三千二百五十間、土直苗圃一萬一千百三十八間、合計三萬四千三百八十八間にして檢査の合格苗は直ちに移植さる可く、隨つて移植檢査は蔘苗檢査と殆んど同時に施行さる可し

◎東拓移民勸誘
本年より移民を派す

東拓會社にては移民勸誘の一方法として本年より各出張所管内に於て一名宛の移民を選拔し出張せしむることゝなれるが其派遣者は出張地先きの出身者にして要するに移民其者より實際の狀況を紹介せしむるにありて而して本年は移住地と移民の狀況に鑑み福島、高知、大分、廣島、福井、岐阜、德島、山口、福岡、佐賀、新潟の各地に一名宛を派遣す可く、選拔者は何れも約十日間の豫定を以て四月上旬出發す可し、徜匠社員の出張勸誘も依然續行せらるゝ筈なるが其は目下協議中にして未だ決定せずと

◎課稅と營業者
京城商工業の大勢

京城府にて調査したる大正五年度豫算中營業稅は八萬一千十四圓なるが其營業の種別は二十五部類の多きに及べり其貸出金及び收入金、課稅人員收入所得金に對する課率等を表示すれば左の如し

營業別	貸出金又は收入	課率	人員
銀行業	三、一五七、二四七	百分七	一一
保險業	二、二三四、九四六	萬分一四	一一
物品販賣業(第一種)	三三、二一八、〇〇〇	同	[illegible]
同(第二種)	[illegible]	同	[illegible]
金錢貸付業	三、二八六、二八八	同	[illegible]
物品貸付業	[illegible]	千分四	[illegible]
染物業	[illegible]	同	[illegible]
洗濯業	[illegible]	同	[illegible]
寫眞業	[illegible]	同	[illegible]
倉庫業	[illegible]	同	[illegible]
料理店	[illegible]	同	[illegible]
湯屋	[illegible]	同	[illegible]
理髮屋	[illegible]	同	[illegible]
代書通辯業	[illegible]	同	[illegible]
遊戲場	[illegible]	同	[illegible]
周旋業	[illegible]	同	[illegible]
旅人宿	[illegible]	同	[illegible]
飲食店	[illegible]	同	[illegible]
下宿	[illegible]	千分二	[illegible]
製造業	[illegible]	萬分七	[illegible]
印刷出版	[illegible]	同	[illegible]
請負業	[illegible]	同	[illegible]
仲立及周旋業	[illegible]	同	[illegible]
代理及問屋	[illegible]	同	[illegible]
職工 一等	六圓		[illegible]
二等	四圓		[illegible]
三等	三圓		[illegible]
四等	一圓五十錢		[illegible]
五等	一圓		[illegible]

◎生牛と露貨（成北）

成北各地に於ける露貨は昨今漸次其相場を下し氣配は前途猶強硬なるが如く殊に江岸國境の各市場の露貨は反對に低落せるのみならず過般來露國政府の不換紙幣發行說傳はり其の打擊を蒙れる事著しく殊に生牛貿易は生牛商價の爲め日滿紙幣の換算率より生ずる利益を得んとし生牛を態々江岸土里龍洞地方より稅關の證明を受け露領秋に牽き至りて賣却の後は彼地にて諸物品を購ひ輸入する貿易經路に新現象を來し居れるが龍岷市場の如きは之れに因り逐日不況となり目下開場以來未曾有の不振に陷り同地に集中する生牛數極めて少なく一週間僅に一回の取引を見るのみとなれり爲めに一般地方經濟界に於ける恐慌實に尠からずして漸く將來を悲觀さるゝに至れりと而して客月中同市場より露領に輸出したる生牛は百二十二頭價額四千百十圓に過ぎざる狀勢にて非常の減退なりとす(元山)

◎國境穀價高騰

北滿地方不作の結果昨冬來より各縣各樣に防穀令を施行したるが爲め豆滿、鴨綠兩江沿岸に於ける鮮人等は從來食糧品の大部分を對岸地方より仰ぎ居れることゝて忽ち之が不足を訴へ就中主要食糧品たる粟の如きは大に高騰を告げ昨今一石に付き七十錢内外を唱へつゝあるより細民は尠からず困憊の模樣なりと

◎大邱兵營地獻納手續

大邱兵營敷地は豫定の如く殆んど全部買收を了したれば是を陸軍省に獻納の手續を爲すべく二十五日加藤商業會議所副會頭、伊藤期成會評議員總督府に出府せり(大邱)

◎苗木百六十萬配布（京畿道）

道より配布す可き共同購入の桑苗は本月二十八日より一齊に各郡へ配布を始め四月一日迄に全部を終了する筈にて各郡にては一齊に之れを植付け道及び郡より實地の監督を爲す由にて總數百六十萬本なりと

◎短期農事講習會（京畿道）

道内各郡に於て去る十七日より短期農事講習會を開會したるに各所共平均二十五名乃至三十名の講習生あり二十八日を以て全部終了すべしと

◎木浦水道通水式（木浦）

木浦水道は擴張增設工事中の處這般竣成を告げたるを以て來る四月一日午前十一時同地大成洞一本松の配水池構内に於て通水式を擧行す可しと

◎市内の撒水開始（京城府）

京城府に於て每年夏時に行ふ道路の撒水は本年度豫算に五千百二十四圓を計上せるが例年は五月よりと定まり居れど本年は近く撒水を開始すべしと

◎吉野博士入京期

豫て滿鮮視察のため渡來の噂ありたる東京帝國大學教授法學博士吉野作造氏は二十五日夜東京發朝鮮に向ふ可き旨同博士の近親なる旭町二丁目瀨戸醫學士の許迄首信ありたるが所報の如く途中にも立寄らずとすれば二十七日夜南大門著にて入京の筈なり、同博士は京城にて前記瀨戸氏方に止宿し約四日間滯在の上滿洲方面に向ひ再び入京の旅程なりと

◎辭令

朝鮮總督府判事正七位　臼井水城
敍從六位(各通)
同正七位勳六等　足穗浩

◎三浦氏辯護士名簿登錄　元京城地方法院書記兼通譯生(朝鮮語)三浦末喜氏は嚢に東京に於て辯護士試驗に合格したるが二月二十三日附を以て京城地方法院檢事局辯護士名簿に登錄したりと

◎露國行出稼人に就て　露國が今春播種期に於ける農民の出稼人を募集す可く其調査を京城商業會議所に依賴し來りたる事は既報の如くなるが右は朝鮮人に限るものにして内地人には及ばず又朝鮮人にありては會議所は單に露國當局者の依賴により勞銀其他の調査を報告するに過ぎずして直接出稼人の取扱ひ或は其質議應答を爲すものにあらざれば誤解なき樣注意を要すべしと

元山

▲普通學校授與式　元山公立普通學校及び公立簡易商業學校の證書授與式は二十四日午前十時より普通學校に於て擧行されたるが卒業生は普通學校男四十名女十四名簡易商業學校廿一名にして普通學校修業生は男百九十名女五十一名なり▲露領事館撤廢狀態　元山露國領事館は過般元山駐剳同領事ビルコフ氏逝去後後任領事の來任を見ざる事久しく事實上に於て撤廢の狀態となり居れり▲終航の臺北丸　大阪商船臺北丸は二十四日元山出帆南航の臺北丸は今回を以て北鮮沿岸は終航し次回より陸軍御用船となり大阪島間に航行の由▲司令官出發　永興灣要塞司令官杉本弘毅氏は鎭海視察の爲め二十四日朝出發

盈德より　獻心

▲慶北盈德は邑二里の地點に江口の一港を有し西に安東邑と相呼應するの要所にあり唯惜むらくは盈德安東間道路未だ改修されず交通便ならざるが爲め物資の吞吐又意の如くならず
▲盈德邑内地人約六十戸、旅館二、雜貨商數戸、氣風頗る穩和、邑民協力和合の現象あるは郡長行政の宜しきを得たるが爲か
▲盈德邑は其地形よりすれば一種の仙境なり然ども邑自身生活の基礎を求むれば農業地に非ず漁業地に非ず是を工業に求めんか未だし商業的中心地たる可き運命の開拓は將來邑民の努力如何にあり非乎

群山

▲普通學校卒業式　群山公立普通學校に於ては二十四日午前十時より卒業式を擧行し來賓父兄等多數臨席し定刻に至るや桑島校長開式を宣し一、唱歌二、勅語捧讀三、學事報告四、證書授與五、校長誨告六、長官代理訓示七、來賓祝詞八、生徒總代答詞等の順序に依り閉式したるは正午十二時なりし▲農水兩校終業式　群山簡易農業學校及び群山簡易水産學校に於ては二十五日午前十時より全羅北道廳よりは金參與官來臨し其他群山日鮮官民多數の臨席ありて定刻に至るや桑島校長開式を宣し一、唱歌二、勅語捧讀三、農業學校學事報告四、水産學校學事報告五、兩校生證書授與六、校長誨告七、來賓祝詞八、在校生答詞九、卒業生謝辭等の順序に依り閉式したるは十二時なりし

木浦

▲組合豫算會議　木浦學校組合豫算會議は廿二日午後一時府廳樓上に於て開會組合會議長より委員會の經過查定に付詳細なる報告あり終て協議會に入り田委員長より報告ありて協議會に入り學校費中一千四百四十四圓を刪減し歳入戸別割に於て均衡を保つ爲め更正したる結果三百二十二圓四十一錢を增加し兩者合計千四百六十六圓は大正六年度以降に於ける減債基金として積立つる事にして玆に豫算全部の確定を見るに至れり
▲光陽海苔製造　光陽改良組合に於て製造に掛る海苔は秋季發育不良にして一時悲觀されたるも冬芽良好なりし爲め二月下旬の大潮により十萬枚を製造し更に三月下旬の大潮にて二十四萬枚を製造し得たり今之れを十二一兩月の製造高と合する時は優に七十二萬枚を算し當局の豫定數五十萬に比し約五割の激增にて本事業終了迄には六七割の增加を見るならんと
▲小學校卒業式　當地小學校にては來る廿五日午前十時より同校に於て卒業式を擧行する由なるが本年の卒業生は尋常科男四十四名女三十四名合計七十八名高等科男三十二名女十六名合計四十八名にして卒業生中高等科卒業生は約十八名の見込にて他は補習科又は實業學校及び實業學校へ進學し女子卒業生中高等女學校へ進學するものは目下一人もなく多くは補習科に入り全然家庭の人となるものは二三人に過ぎずと
▲小學校入學式　常小學校に於ては來る四月一日入學式を擧行する由なるが本年新入學兒童は百五六十名にて斯く多數の兒童に達し非常の增加にて二學級に編成するは頗る困難なる爲め當局者は三學級に收容することを希望せしも經費の都合上其實行六ヶ敷止むなく是迄通り二學級に收容教授をなすと

馬山

▲馬山府協議會は本月二十日より開會目加田平三郎、吉田釜太郎、弘清三氏外鮮人二名の協議員出席豫算を附議す▲馬山商業會議所は近く認定の許可あるべしと▲馬山公立尋常高等小學校に於ては廿三日午前九時より第十回兒童學藝會を擧行せり

釜山

▲職員傭人の表彰　釜山學校組合にては同組合學校職員及び傭人にして十箇年以上の勤續者に對し表彰せんとするもの左の如し
商女校長高橋恕、同教諭假屋隆親、同三科こと、尋高校訓導古原八郎、同星野善隨、同井上きみ子、同三好きく、小使田乃賢、第一尋校訓導小畑三郎、同仲西威則、小使龜井斧次郎、第二尋校長山田頼藏、第三尋校訓導安藤勇、第四尋校長牛島雄象の職員十二名傭人二名なりと

大邱

▲穀物檢査數量（慶北）　輸移出穀物改良組合各地出張所に於ける三月十一日より同二十日に亙る最近十日間の期間檢査數量に就て大邱穀物組合の調査に係るものを示せば左の如し

▲玄米

所名	檢數	上格	下格	再調
金泉	—	二、八七九	八〇八	五二〇
倭館	—	二、〇二二	四一一	九七
大邱	—	九四	六	—
慶山	二、一六七	二、一〇八	八六六	八八一
清道	—	二、一四〇	一一九	四六三
浦項	—	二八五	四四	—
開浦	—	七七九	一九六	一一三
計	二、一六七	一〇、三〇七	二、四五〇	[illegible]

▲大豆

所名	總數	上格	下格	再調
金泉	九六一	九四〇	二一	九二
倭館	一、二三二	一、一一九	一三	二七四
大邱	一八八	一八八	—	—
慶山	一、六九四	九六一	七三三	二一七
清道	九六	七六	二〇	—
浦項	三〇七	二八四	二三	三〇
開浦	三	三	—	—
計	四、三八一	三、五七一	八一〇	六一三

▲繩叺組合規約　慶北慶山郡に於ける繩叺生產事業は頗る有望の機運に向ひつゝあるが今回慶山郡繩叺生產販賣組合規約を設け繩叺の生產增加を圖り且つ組合員の製出したる繩叺の共同販賣を實施すべく組合規約總則より組合員加入脫會及び組合の機關其の他事業に關する規約會議計算並に違約者處分規約の變更及び解散に關する全四十一條に亙る精細なる規約を設け益々同組合の發展を計るべしと
▲蛾洋橋工事進捗　達城郡東村蛾洋橋は橋板全部を敷き既に九分の工事を了したれば遲くも四五日中に通行し得べしと
▲農學校卒業式　大邱公立農業學校は二十五日午前十時より同校五回卒業式及び修業證書授與式を擧行せり
▲高女入學試驗　廿五日午前九時より大邱小學校内に於て大邱高等女學校入學試驗を擧行す志願者八十一名中受驗者七十八名にして成績發表は廿八日なり
▲關屋學務局長來邱　關屋總督府學務局長は學務狀況視察の爲め廿五日來邱四月より開校すべき商業普通學校舍其他を視察し廿六日歸府す

江口より（一）　獻心

▲慶北東海岸一帶は好個の漁業地なるのみならず盈德郡江口の如きは唯一の避難港にして昨年當局が此處に突堤工事をなせしも亦是が爲なり
▲大正元年余が江口を訪ねしときは常住内地人戸數僅かに四戸に過ぎざりしが昨年頃より急激に發展し今は六十六戸繁榮會さへ設立され池田幸英氏是が會長に推され宛然港民結合の鍵鑰たり
▲江口港の盛漁期は十一、十二月にあり今は閑散なりと雖も又季節を通じての漁業あり交通機關の發達と共に將來の發展豫想するに難からず

▲演武會開催　大邱在住神刀流武術師範劍持氏は士氣鼓吹の目的を以て來る四月二、三日兩夜歌舞伎座に於て演武會を開催し餘興には中川旭正氏の琵琶獨奏及び活動寫眞等なりと

浦項

▲日月學校組合設立（慶北）　迎日郡奮延日邑内には漸次移住民增加し學齡兒童已に二十二名に達せしかば學校組合を設立せんとて其筋に請願書を提出せり▲叺組合新設　延日郡大松面上島大島には鮮農副業として叺を製造せしむ可く目下組合員組織準備中なるが入會者豫期以上に達せりと

盈德

▲畜產品評會　廿三日慶北盈德邑に於て畜產品評會を開く畜牛頭數九十小林慶北道技手審査の結果受賞者一等五、二等十五、三等二十五、四等四十五褒狀以上なりき廿四日風致林に於て褒賞授與式擧行李畜產組合長の挨拶小林技手の審查報告、道長官代理慶北道技師の訓示其他答辭等あり晝食後盈德旅館にて慰勞親宴を張れり▲春季射擊會　盈德警察署にては二十三日管内各駐在所員を召集し風致林に於て春季射擊會を開く▲諸官吏去來　慶北道事務官は事務視察の爲め二十三日來盈二十四日寧海へ大邱地方法院藤堂判事村上檢事は公用を帶び二十四日來盈岸慶北道技師は李道長官代理として李迎日郡守と共に畜產品評會に臨席せり

德山より　雅蛾生

堤川郡德山面は古來人蔘の產地にして巨刹傑閣の鎔地を以て知らる所かも山紫水明の勝地に當れり就中月岳山は巍峨として雲表に聳峙し峙嶺突兀其姿を削りて其巍奕鬼斧神工に成るかと疑はしむ。山頂俯して脚下を眺めば乙亥山、紫芝峰、文殊峯、逆旺山等一眸の裡にあり是等嶺々として德山面より水山面に連繞せる山系は即ちタングステンを包容せる忠北の富源にして今や其石礫の奔流は渓間深淵に漲り徒手空拳の采掘擇として其渦中に彷徨す、德山面城内に巡査駐在所あり最近の新設にして現任石渡巡查の着任したるは昨年六月なりしと謂ふ城内市場は實に君が拮据秩掌の第一見にして昨年七月の創設に係る、當時市場の狀況につき感慨に堪へざるものゝ如く石渡巡査は語る昨年七月來内市沿人七名購買者十八名總賣上高三十八錢五厘なりしもの今や一躍して水山市場と伯仲の間にあるもの槪より豫備機關の賜に外ならず而かも最近德山面にタングステンの發見さるゝや内地人の來往頻繁にして一日十五名以上の宿泊者ありと謂ふに至りては驚くの外なし其顔觸れを大別するに勿論玉石混淆菲鴻を辨つ能はずされど山師三、盜掘品密買者五、タングステン中繼業者一、出願準備者一の割合にて中には怪しげなる外人さへ詐託し密買を爲せるものあり城内より水山に向ふ途上鐵瓦源右衛門氏の經營せる東部鐵山を視察す鐵瓦氏許可鑛區の隣接地は闘雞谷の官有地にして千似の鑛壁屏風を立てたる如く鑛脊悉く石英岩水成岩にして數十條のタングステン脈あり鮮人盜掘者は蟻の如く岩角を攀ぢ峭壁に倚りて鎚を振ひ探礦する狀觀るものをして膽魂消ゆる思はしむ若し一歩を誤らんか骸骨忽ちに粉碎されん金が敵の世なるかな。

人事消息

▲秋山眞之氏(海軍少將)渡歐の途次入京中の處廿六日午後九時四十分の列車にて北行すべし
▲山梨海軍中佐　同上
▲鳥巣海軍中佐　同上
▲中村檢事長(京城覆審法院)　二十七日午前九時二十分發列車にて釜山へ出張の筈
▲三宅驥一氏(理學博士)　二十六日朝入京午後四時開城へ
▲豊永博士(工場醫務所長)　二十五日夜水原より歸任
▲古城鑑治氏(醫學博士)　二十六日午前内地へ
▲中島陸軍少將一行　二十六日午前内地へ

時間表 (行南) (行北)

◎手を延した大鑛脈

朝鮮には製鐵事業が有望

三菱の製鐵所——石炭が極めて良好だ——朝鮮では平壤附近の

海軍省軍務局長秋山少將の談

既報の如く歐洲各國へ出張すべき海軍省軍務局長秋山少將は廿五日午後九時南大門着直ちに朝鮮ホテルに投宿したが記者に曰く

自分は廿六日夜京城出發、途中哈爾賓に二泊して露西亞に向ふ豫定である、露國からは更に瑞典、諾威を經由して英國に赴き次いで

◇佛國から伊太利

を訪れる積りであるが巴爾幹地方へは行くか行かぬかまだ判らぬ、歸朝するのは多分今年の秋頃であらう、自分の用向きとしては各國共に總ての方面を觀て來る積り別に海軍の方面に限つた譯ではない、目下英獨共に海軍の方は滿を持して放たざるの感があるがさて花々しい海戰を行るか行らぬか判らぬものでは無い、獨逸の

◇潛航艇の活動を

褒めそやす人もあるやうだが餘り大した事でもなからう、また日本の海軍が這回の歐洲大戰によつて學むだ點は餘り無からうと思ふ、近頃速力の極めて速い輕快な裝甲巡洋艦を作るといふやうな事もその必要があるから計畫したまでゝ將來は各國共に快速力の軍艦を作る傾向があるのは爭はれぬ事實である、將來造艦事業に就いて必要な事は鐵の問題であるが日本も

◇頃日は鐵の不足

で困つて居る、聽けば朝鮮には近來鑛業熱が盛だといふ事だが將來製鐵事業を盛んならしめるといふ事は極めて必要な事であるから朝鮮に於ても是非奬勵したい事である、昨今のやうに鐵の價値が騰貴した時に於ては金銀鑛の事業よりも寧ろ銅鐵鑛などの方が有利であるが殊に合金用に用ふるタングステン、水鉛、滿俺などは

◇最も大切な鑛石

である、思ふに朝鮮は最も製鐵事業に適した國であつて彼の滿洲地方に大鐵山がある處を見れば北鮮地方にも必ずや大鑛脈が延びて居る事と思はれる、殊に朝鮮では製鐵用に

◇最も適當なる石炭があるから非常に便利であると思ふ、內地の石炭はどうも骸炭に不適當であるけれ共朝鮮では平壤附近の石炭が極めて良いやうである、現に鎭南浦では

◇三菱の製鐵所が設けられたと云ふ事だが願くば朝鮮が天與の富源を空しくせざらん事を祈る、次にまた昨今は水鉛鑛やタングステン鑛が盛んに出るといふ事だが此の事も實に製鐵事業には誂へ向きの好材料であつて將來は是非共朝鮮に於て是等の精鍊事業を始めたいものである、水鉛はむかし我が國に於ける正宗の名刀などにも皆合金として混じたもので

◇今でも堅い鋼鐵

にはせひ水鉛やタングステンを使用しなければならぬから是等の鑛石の需要は前途益々有望である、朝鮮でも折角斯る世界の寶を有つて居る以上は朝鮮自身で合金、重石や合金水鉛を作り出さねば駄目である現に內地などでは電氣爐を用ゐてポツ／＼精鍊事業を始めつゝある向きもあるやうだが此の事業は是非朝鮮に於ても實現したいものである

秋山海軍少將

◎暖かい南の風

京城の名殘の雪

日曜日の廿六日は山の色にも日の光りにもすつかり春の暖かさが見えて來た、街の人はみな重くるしいコートを捨てゝ復活した春の色をなつかしみながら歩く

□悤々京城の春 はこれからである、測候所員の談しによれば廿六日午前六時の氣溫は零下五分（華氏の三十一度一分）同じく十時の氣溫は九度二分（華氏四十九度）で昨年の平均溫度に比較して大差はない、併し今年は冬の一月頃が非常に暖かであつたから過般來

□一時の寒さが 肌に泌むやうに感じられたけれども此の分なれば平年通りに暖かくなるであらう、元來京城の氣候は三月十四日頃からだん／＼暖かくなり次いで廿日前後からずつと昇つて十度內外となるのが例となつて居る、二三日前の雪はほんの

□鳥渡した現象 でふつたけれども廿五日來又南支那の揚子江附近に高氣壓が擴がつた爲に朝鮮半島は暖かい南又は西の風が吹く、猶ほ滿洲や西比利亞も此の二三日來暖かになつた、此の揚子江方面に高氣壓の移動するのは毎年春になつた時の現象である

◎一人は幸福者

二組みの棄て兒

京城樂園洞李根湘の妾安南伊（二七）方の中門內に二十五日午後五時半頃生後約六十日位の鮮人女兒が遺棄しあるを同家の下女劉姓女が發見し鍾路署に屆出でたるより係員出張檢視したるが引取人不明なる爲め一應府廳へ引渡したり又京城昌信洞大工林熙慶方表門內に三月一日午後四時頃昨年十月五日生れの鮮人男兒を遺棄したるものあり林熙慶の妻高姓女（三〇）は憫れに思ひて拾上げ幸に子なきを以て今日迄養育し來れるを二十五日鍾路署員探知し一應取調べの上同女の希望に依り引き渡したりと

故露庵翁逸事

玄洋社中の秀才

安東新報社長露庵南部重遠翁は二十三日遊獵の途中午後七時頃平安北道宜川三峰里で

▲突然心臟痲痺 を起して長逝した翁は肥前平戶の士族で玄洋社中の秀才であつた後同社に在つて長く子弟の敎養に當り君の薰陶を受けた名士も亦少くはない翁は磊落不羈頗る豪放であつたが其半面には涙脆き優美な情緒坦瑯玕の如きものがあつた、自らも武士道を以て立ち人も亦之を許した最近に安東新報社の營業上の問題で

▲錯雜した事件 が起つた際の如きも翁の態度は實に立派なものであつた併し翁が餘りに名利に淡くあつた爲めに當世に處しては轗軻不遇の一生を終つた事になつたけれども之は寧ろ君の安んじて居つた處であつた翁享年五十二未だ春秋高しと云ふではないが翁の期する處は今後に在つたに違ひない若い時代には

▲非常な酒豪で 痛飲數日に亙る事も珍しくなかつたが中年以後に醫師の勸告に由つて絕對に禁酒して居つた銃獵は翁が唯一の娛樂なりしを以て銃獵に就ては殊に造詣に富んで居る曾て銃獵の歸途新義州の鐵橋を渡らうとする急に背後から列車が疾驅して來た避ける遑もなく枕木にブラ下つて僅に一命を取り止めた

▲此の危機一髮 の際にも翁は銃身がレールに載つて居つて列車に間違があつてはと慮つて片手で身を支へながら片手で銃をレールから取り除けた橋の下は水の無い部分で岩石が累々落ちたら最後五體は微塵であるが君は金錢に對して頗る恬淡であつた一例は

▲二十錢の銀貨 が一番持つの都合が好いと之ればかりを撰へて財布に入れて置いて何を買つてもそれで拂ふ事に一丁乘つても二十錢銀貨を一つ拂ふと云ふ遣り方だつた又頗る孝心に厚く母堂に對する孝養は鄕黨の稱する處で有つたと云ふ逸話もある彼の有名な筑前琵琶の湖水渡りと川中島は翁の作である

◎窃盜は勳七等

京城北米倉町五十五番地松野某方に寄寓し居る東京本郷生れ勳七等青色桐葉章並に從軍徽章拜受者黑田寅吉（三七）は無職にて身分不相應の贅澤なる生活を爲し居れるより早くも本町署の刑事が注意中同人は遞信局に雇員在職せし際大正三年八月頃京城光化門通遞信局宿直室にて同局官吏吉住某の現金六圓を竊取し尙昨年九月中京城某所にて書籍三十一種（二十五圓）を竊取して自宅の床下に隱匿しゐたること發覺して本町署に引致さる

◎密漁船を拿捕す

長崎縣生れ豐永福太郞（四〇）野田長五郞（三十）本田銀太郞（三八）高川芳造（四一）本田捨一（三〇）の五名は本月廿日慶南蔚山郡西生面沖合にて又山口縣生れ矢野定藏（三一）諫早菊造（三八）長崎縣生れ山縣五一（三十）の四名は三月廿日東萊郡機張末沖合にて鰯約千七百疋を捕獲し又長崎縣生れ入江虎市（四三）入江惣太治（三〇）濱崎若松（三三）の三名は三月十八日蔚山郡雲岩洞沖にて何れもダイナマイトを利用し不正漁を爲し居りしを釜山水產組合の巡邏船に發見され魚類は押收され身柄は何れも釜山署へ引致されたり

◎里長を脅迫す

平南成川郡大谷面芝洞農李得成（四五）は昨年八月里長鄭孝龍より依賴を受け里民數名より徵收したる稅金を悉く橫領消費し後に至りて罪を隱蔽し得ればよし然らざれば汝の惡事を一々指摘して告發すべしと脅迫したる事其筋に探知せられ橫領罪として檢事局に送らる

◎指を斬落さる

群山二條通居住仲仕業吉岡伊三郎（三〇）は豫て女房お種が先夫某と常に往來するを面白からず思ひ居たる際去る十七日お種が外出先より歸りが遲かりしより悋氣喧嘩を始めたるが其の日は仲裁する者あり事無く納りたるも翌十八日朝伊三郞は炊事場に在りたる鋭利なる出齒庖丁を取り油斷を見澄しお種に斬り付け同人の右手の指四本を切り落したる騷ぎに近所の者驅け付け被害者お種を早速附近の中山病院に運び行き應急手當を施し目下加療中なりと

◎書籍を萬引す

埼玉縣大里郡生れ當時京城明治町二丁目居奧宗九郞（三〇）は三月二十一日本町大阪屋にて書籍五冊（九圓六十錢）を萬引して本町署に引致さる

軍艦生活

呑氣に見えても乃公も江戸つ兒

吾輩は海軍の士官候補生である、吾輩の海上生活は未だ極めて日が淺い、故に此の軍艦生活の見る物聞くもの凡ては我輩に取つては悉く多大の感興を惹き又頗る珍妙の感を催す事も亦決して少くはない

▽茲に於て吾輩 ▼京城日報を通じて海の生活を我が陸上幾萬の兄弟達に御話し爲ようと思ふのである、陸上生活の諸君から我等を眺めると如何にも呑氣相に見えるであらう、又全く呑氣に相違ない、墨の如うな鐵艦を泛べて北の端から南の極みまで乘り廻し

▽氷山が大熊星を ▼衝き貫く樣に切立つて居る北方の海岸に白熊と相撲でも取つたり、又は椰子樹の影の婆娑たる熱國の濱邊で眞黑い蠻人の女の戀歌でも聞いて居ようと云ふのだから全く呑氣には相違ないが、而し吾輩と雖も決してお母に尾鰭が有つて水の中へ卵生された譯では無く矢張り諸君と同じ樣に土の上へオギアと生れて

▽手足の指には ▼水搔もなければまた元來陸で暮すべき性質の者で有るからこう他所で見る程に呑氣ぢや通されない最も甚だ海上生活の面白味もあり趣きも有ると云ふものだ、何だつて苦勞が足らなきや味も出ない

▽吾輩が未來の ▼アドミラルたるべき多大の希望を抱いて△△艦上の人と成つたのは一年ばかり前の事だ小さな鳥へでも投げ出された樣な危つかしい足取りでオツ／＼デツキを歩いて居る樣子が家鴨の樣だと云ふので笑やあがつた水兵が有つたそれより更に何んとなく小癪に障つたのは初めて

▽艦內で華胥の ▼夢を結ぶと云ふ釣床問題だ元來軍艦の中では准士官の兵曹達にはそれ／＼部室が當がはれて居るが少尉に成ると何れも水兵達と一緒にハンモツクを釣つて中甲板の天井下にブラ下つて寢なければならぬ況んや新參の吾輩に於ておやである、それにしても苟も士官の中少尉が

▽ハンモツクに ▼ブラ下つて兵曹達に持つ部室が有るとは吾輩は兎に角諸君は不思議に思ふので有らう而も靜かに考へて見ると直ぐ分る兵曹たる者は何れもオールドである何れも部室でなければ安置し奉る事の出來ぬ御肖像寫眞の二枚や三枚は持つて居らぬ者はない成る程これでは

▽各自に部室の ▼必要が有る吾輩などには自分の部室でなければ拜顏の榮を得る事の能きぬ樣な御肖像などは苟も一枚も持つて居らぬ故に部室などの必要を感じないと云ふ事になるいやそればかりではない

▽矢張兵曹諸君 ▼に部室の當がはれて居ると云ふのは一種年長者優遇の意味に外ならぬのである斯う思ふと乃公も江戸つ兒だ何んのハンモツクも小癪にも障るものかい

◎帶劍を奪ふ 全北高敞郡孔音面松山里生れ金永順（三七）は一定の職業なく各地を徘徊し[illegible]けありたる同署勤務洪巡查補の帶劍の刀身だけを拔き取り雲を霞と逃げ去りたるより同署にては非常に打ち[illegible]

人各地を徘徊し被害者夥からず殊に平安北道の如きは最も甚だしき由なれば其筋にて警戒中なりと

◎見學團の接待 愛國婦人會[illegible]て松井署長富田警部高橋警察署等係りにて衞生講習を開始すべしと

◎大仁丸の審判 本年二月二日仙頭沖にて臨安號と衝突沈沒した[illegible]

◎釜山火災損害高 廿四日釜山幸町一丁目の火災に於ける損害は五萬六千圓にして內建物一萬四千圓なりと

死傷會社は死斯九軒二十九孔損害三百圓電燈十二軒百三十燈損害約五百圓なりと

演藝案內

◎黃金館 黃金町四丁目 電話二六三七 三月二十五日より春季特別大興行 ◎實寫ダーダネルス海峽に於ける佛國艦隊の猛擊 ◎御大典記念實寫陸軍大觀兵式海軍大艦觀式實況 ◎天勝合同 ◎舊劇 柳生漫遊記 全三卷百三十場 ◎新派大悲劇 須磨の仇浪

壽座 本町 電話五七八 廿五日より壽座の新派劇三轄水谷合同一座 一等六十錢二等四十錢三等廿錢

壽館 本町 電話一〇五〇 三月二十五六七の三日間雜誌新天地社主催の下に京城雨券番の技藝優秀なる舞踊大演藝會を開催し之を表彰致し度候間何卒陸續御來館御批評の程奉待候 入場料一等金七十錢二等金五十錢三等金三十錢 下足料金二錢 演題は毎日新らしき物のみを御覽に供し申候 毎日午後六時開演

大正館 櫻井町 電話八七三 三月二十五日より新寫眞提供 ◎泰西活劇 ◎新派悲劇 ◎軍事活劇勇婦ベーチー

製材機械原動機 其他一切付丸鋸共 賃貸又は割安賣却 鑛山機械專門製作 南大門通五丁目 電話一〇四番 中根商會

官廳銀行會社商店員は骨を折らずに收入多し赤るに今や實地にたけたる人物なきに困じ居れり之れを得んには東京芝區新町大日本通信學院發行の英和簿記講習錄に就て三ケ月卒業早速就職す現に卒業生は官廳銀行會社商店等に奉職し多額の俸給を受け優待せられつゝあり希望者規則進呈

男女募集

消毒全乳設備完全 大邱 吉田牧場 錦町 電話四二番

鴨綠江材御小賣 大邱府元町二丁目 杉原材木店 電話一六番 振替京城九二三番

東京で一番の

高評と賣行を有する

美人となる家庭化粧料

ホーカー液

ホーカー液は畏くも宮內省御買上の光榮を有し、東京で一番の賣行を有するのみならず、橫濱、名古屋、京都、大阪、神戸其他著名の都市に於ても、同種化粧品中最高の賣行を有す。

東洋第一の

多大なる販賣數を有する

美人となる家庭化粧料

ホーカー液

內地に於て最高の賣行を有するホーカー液は今や滿洲、朝鮮、中華民國、シャム、シベリア等東洋は勿論南洋に至る迄販路擴張せられ國產化粧料の聲價益々高し。

美人となる

天下唯一の家庭化粧料

ホーカー液

何故に如斯無上の光榮と至大の高評賣行を有するか、これ明かに我がホーカー液の

品質の最も優良なる

効果の最も卓絕せる

價格の最も低廉なる

三大美點を證明するものなり、乞ふ此世界唯一のホーカー液を益々御賞用あらんことを

東京市神田區柳原河岸十四番地（和泉橋）

本舖 堀越嘉太郎商店

ホーカー液 ホーカー美髮液 ホーカー白粉 ホーカースヰート

天氣 西の風は晴一時曇

され取調を受けたるが金は警官の沚染料を効力あるもの、如く欺きて不正の利益を獲得する支那人及び朝鮮人…斷を見濟し警察署構内の帽子掛に掛

…十一日…内居住の…十二名を半數宛隔日に同署に召集し…草を獎勵する由

…裁となり下調査中なり（大阪支局）

…局は電話器二個保安器五個なりしも

●料理店組合の紛擾

壽美家京城券番に加入せんとす

京城料理店組合、中券番、京城券番は昨年共進會前後より互ひに相提携し歩調を一にして親睦し來り、ために兎角波瀾の生じ易き花柳界も

比較的平調に進

み來りたるが昨今に至り圖らずも些なたる事より紛擾を醸し中券對一部料理業者の確執、料理店組合の分裂をも見んとするの氣勢を示すに至れり、事の起りは本月の初め旭町一丁目の料理店壽美家が内地より藝妓三名を抱へ來りその妻女の名儀にて置屋營業を願ひ出で然して京城券番の所屬たらんとせしより中券番よりその關係者に向つて抗議を申出でたるあり中券番が料理店組合取締に對し壽美家の京城券加入に

抗議せる理由は

昨年京城券番對料理店組合が紛爭し券番が箱止を發明すると共に料理店にては同券藝妓を呼聘せずとの決議を爲したる時料理店側にては其の對抗策且は牽制運動のため一部組合員より從來深き關係を有せざりし中券に提携を申し出で中券亦之れを容れ各料理店に於ける内藝者の融通その他の便宜を圖る事となせるが之れに對して料理店組合は頗る滿足の意を表し『吾々は大に感ずる所あり、今後營業上の權利又は利益の擁護を期する爲め貴券番の存在する限り貴券番に所屬……云々』の

誓約書を提出し

之れに五人連と稱する白水、やぐら、鳥丸、梅花、壽美家の代表者五名は連署調印せり、其後右の内鳥丸は廢業し家、やぐらは伊勢家と稱する置家を開業したるも前記の誓約に基き中券番に加入せり然るにその内の一人なる壽美家が前以て何等の挨拶もなく京城券に加入せしは當時の誓約に違反せるのみならず中券を愚弄せるもの也といふにあり、中券にては此理由の下に去る十六日澤田取締に對し貴組合には斯る

不德義の組合員

あり、組合の體面上捨置かるゝやとの意味の質問書を送りしに取締も之れを諒とし役員會を召集して協議の結果組合としては壽美家の執りたる行爲に對し別に言議を挾む權能を有せざれども個人として中券の申出を容れ一應壽美家を問責すべしとて中券の質問書は十九日に至り返戻せり、一方又中券側とも見るべき料理店花月、清華亭、松葉、大江戸、松翠樓、有明樓、鳥丸やぐら花壇にては此措置を誠意なきものと認め『吾々は斯る不德義の者と共に組合員として席を同じうするを潔しとせず』との意味にて

組合脫退の決議

を爲し同時にその一二の不德義者なるものとは向後公私共一切の交誼を絶つ旨を取締に申出でたるより組合は事面倒なりとて二十一日總會を召集し前記の脫退組にも出席を求めたるも已に脫退の決議を爲せるの故を以て出席を背んぜざりしも總會の結果脫退の申出では姑らく之れを保留し善後策として組合員より調停委員として鍋道樂、喜久家、千代本、松翠の四名を擧げ調停する事となれり、又今回

紛擾の惹起者

なる壽美家は料理店取締を經て中券取締に會見を申込み京城券加入の事情を陳ぶる所あり、右は一、醫者の勸めに依り名義を貸せる自分の名儀に依らず妾の名儀にて置屋を願ひたれば差支へなしと思ひたる事二、藝妓を抱へせし一人なる白水が容儀中より藝妓を雇ひ入れ京城券に屬する事を置所に託し營業せしめ居るが中券が見逃し居れば差支なしと思ひたる爲の二點にありしも中券にては此等の陳情は徒らに事を構へ辭を弄するものとして容認せず斷然決議を實行すべき旨を宣したるに關係者よりの懇請もあり二十五日までに誓約違背者を説得して圓滿なる解決を爲すべしとて物別れとなりしが之れが今日までの成行なりとぞ

日曜漫畫 素人寫眞P・O・P先生の苦心

めちや吉畫

（一）斯界の天才P・O・P先生、貰はぬ前から春の大會に一等賞をとつた樣な氣分になつて、意氣揚々と野外撮影にと出かけて行つたが（二）汽車を下りると早々百姓犬の包圍に陷つて先づギャフン（三）やつと佳い構圖を發見して夢中に覗いて居ると（四）之れは又亂雜千萬、頭から泥水を被つて濡鼠になつた（五）之れに懲りず今度は天上からパノラマ應用の美觀を收めて、隣國連を驚かしてやらうと迄はよかつたが（六）驚いたのはP・O・P先生寫眞機共々眞逆樣に墜落（七）落ちた處が折惡しく牧場の中、ブーと赤牛の一息に膽を冷して（八）飛込んだのは思ひもよらぬ軍用地、憲兵ドンのお眼玉を土産に（九）やつと印畫と迄漕ぎ付けたが寫した乾板は揃ひも揃つて×

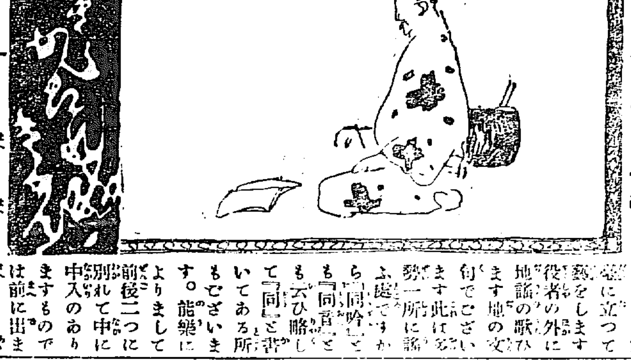
謠曲の符號の話

芝居より聞く行渡れり謠曲 謠本に用ゐらるゝ符號種々

尾上梅幸談

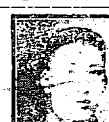
先月市村座で亡き五代目菊五郎の追福興行を營みまして私は梅幸十種の一つになつて居ります土蜘蛛を演じましてございますが此の土蜘蛛は謠曲から出たものでございます。謠曲は全國に行渡つて居りましてずつと地方へ入りまして芝居の噂などのない處でも隨分謠の聲が聞えたり謠の本があつたりしますものですから謠をおやりにならない方でも時折は謠の本をお手に取つて御覽になることもあらうかと存じますが此の謠本にしるしてあります符號は聞かなければ分らないものでございますから私も聞嚙ではございますが御參考の爲にお話し申上げます。此の謠曲は皆能樂として能樂舞臺に上りますものでございますから舞臺の上でそれ〴〵役があつて此の文句を分けて歌ひます。此の役の名が謠本では一つの符號になつて居ります『シテ』とありますのは能の一番の主人公で高砂の老人とか住吉明人とか田村の童子、田村丸とかゞさうでございます『シテツレ』と云ひますは略して只『ツレ』とも云ひまして此の『シテ』に附いて之を助ける役でございます。高砂の老女とか熊野の朝顏の樣なのがさうです。『シテヅレ』が多勢あります時は別々に特別の名を附けて之を分けます。草子洗に出ます貫之とか絃上の師長などがその例でございます。『ワキ』と云ひますのは『シテ』の相手役で『シテ』を主人としますと客に當りますのか『ワキ』で高砂の神主友成、田村では旅僧が之に當ります。『ワキヅレ』は略して『ツレ』と云ひまして『ワキ』に附いて『ワキ』を助けることは丁度『シテヅレ』が『シテ』に對する關係と似たものでございます。『トモ』と云ひますのは『シテヅレ』にしましても『ワキヅレ』にしましてもそれが從者の役になつて居ります時『トモ』と云ひますので又役によりまして『太刀持』とも云ひます。橋辨慶の從者、熊野の從者などが之に當ります。『立衆』と云ひますのは『シテヅレ』にしましても『ワキヅレ』にしましても多人數連れ立つて出る時に『立衆』と云ひますので七騎落の賴朝の隨行者、西行櫻の花見人數などがさうでございます。子方は子供のします役で隅田川の梅若丸、烏帽子折の牛若の數で又實際は大人でも能で子方を用ふ船辨慶の義經陰間の帝などの類がございます。『アシ』と云ひますのは『狂言師』のします役で少し滑稽の味を帶びたものでで處によりましては狂言とも書き可笑しいわざをしますので『ヲカシ』とも云ひます。船辨慶の船頭などがその例です。『地』とありますのは舞臺に立つて勢をしまする役者の外に地謠の歌ひます地の文句でございますが此は一所に謠ふ處ですから『同吟』とも『同音』とも云ひ略して『同』と書いてある所もございます。能樂によりまして前後二つに別れて中に中入のありますものでは前に出ますものを前ジテ、前ヅレ、前ワキ、後に出ますものを後ジテ、後ヅレ、後ワキなどゝ申します。又謠ひ振を示せる符號に次の樣なのがございます『次第』は七五の句を繰返して歌ひ更に七五句を謠ひますもので事の次第を先づ歌ふと云ふ意味でワキやシテの出又は舞曲にかゝる始に用ひます『道行』は旅の道の樣子を謠ふ心の文句です。『一聲』はシテやワキの歌ひ出しに用ゐられます。『サシ』は歌ふと云ふよりも節をつけ綾を加へて朗讀すると云ふ程の處です。『歌』はうたふ處になる文句『クリ』は『シヲリ』とも云ひまして『くる』と云ふ節で上音に歌ふ文句『クセ』は曲舞から來た文句で能としても謠としてもおもな部分でございます。『ワカ』は舞の曲が終つてシテが扇を上げて歌に文句でございます。『ロンギ』は地謠と掛合で歌ふ文句で經緯の論議から出た名ださうでございます。『キリ』は能の結末になる謠で『クドキ』は我身の述懷をし嘆きくどく文句でございます。その他に舞になります處に種々の名がございますが春の宵の湯上りなどに一齣長閑に謠ひますのは誠に趣のあることでございます。此の湯上りでございます

（ミツワ文庫五●三）



▲尾上菊五郎曰く 此からの暖かさには[illegible]

▲森田勘彌曰く 此からは香水の要りも…しまして香水としましては品質の保良さを認ばれて居ります三百番香水をおすゝめいたします。三百番香水にはリ・イ（百合）ヴアイオレット（すみれ）ローズ（薔薇）など六種の芳香がありまして、これに見本壜がついて居りまして、試して見てお好みの芳香が此六種から選ばれますから實に結構でございます。



▲市川新之助曰く 髮を洗ふに宜しい節でございますが髮を洗ふ最上の法はミツワ石鹸を濃く溶しまして梳かして置いた髮を頭の地が浸ります位に此の中へ二分程浸して置きます浸しては梳し浸しては梳しまして毛を揉まない樣にして頭の地をよく洗ひましてお湯で洗ひ流しよく乾いたタオルを絞つて置いて拭き乾かし毛髮より先に頭の地へ少し脂を附けて置きますと髮の毛の色艶がよくなります

…が皮膚に適ひますミツワ石鹸を使つて入浴をしました後と他の石鹸を使つた後では心持が違ひます。ミツワ石鹸は化學上の純石鹸でありますが原料にいゝ防脂が使つてあり皮膚に適ふ樣に精製された理想の石鹸だけありまして使つて見ましても水によく溶けまして溶けますと泡沫の立ちます具合が實に宜しく此の泡沫を皮膚に塗りまして靜かに撫でますと石鹸の作用で汚垢は此の泡沫に吸はれる樣になつて泥りますから此をお湯で洗ひ流しますと泡沫はするりと氣持よく落ちて皮膚は荒らされる樣なことはなく清潔になり營養は助けられて生々として美しくなります湯上りには此の石鹸の優雅な芳香がふつくらと殘つて皮膚は畔に氣も心も暢やかになるのでございます。

祝三千號記念

慶北學校組合
管理者 林田重男
會計役 相馬砂
書記 稻留虎之助
會議員 消防組頭 笠原三右衛門
會議員 衛生組合議員 稻留實
會議員 金谷治助
會議員 消防副組頭 八木廉
會議員 田上吉平
會議員 神谷東

慶北安東有志者
元田武男
坂本三郎
栗原次郎
渡邊蓬太郎
江本喜一
緒方作次
小野竹松
河野猛
松尾錦一
坂本治
村島關藏
林林松
林屋商店
木村洋服店
上田材木店

外科 內科 花柳病 皮膚病 島崎病院
京城壽町（本町二丁目入）
△入院隨時△普通病室隔離病室設備△診察夜九時迄△電話二七三六番

板硝子直輸入商
釜山本町一丁目 村上商店
●相場表御一報次第呈上仕候
電話百十九番 振替口座一四五番

營業品目
肥料部 蒸製骨粉、乾血、蹄角粉、星印配合肥料、細工用地骨、細工用蹄角各種膠及膠原料
石鹸部 化粧用石鹸、工業用、家庭用石鹸、浮石鹸、粉末石鹸、牛脂、椰子油、鯨油、其他油脂類、苛性曹達、洗曹達
京城東大門外紅葉町 朝鮮肥料製造所 電話二六三五番
京城岡崎町一四番地 朝日石鹸製造所 電話二五六四番 電話九七三番 振替口座京城四〇〇番

重石高價購買
▲タングステン鑛石百分の拾より七十三迄含有の品高價現金買仕候
▲タングステン鑛山業者にして責任ある方へは代金前渡し可仕候
▲タングステン鑛山所有者へは採礦御引渡の御契約にて諸工具及び入夫賃金等の立替の御相談に可應候
▲タングステン鑛石御拂渡の契約にて鑛山機械備付け御相談に可應候
▲タングステンに就き御用の方は鑛石小塊見本御送付の上御相談被下度候
京城貞洞二十五番地（電話二九三八番）
ジョージアレーン商會
（支店所在地 忠清北道清州）

水原停車場前
優良種子 純正苗木 販賣 營業案內進呈
富國園 主任 農學士 北郡小八郎

京城本町一丁目 石川淳夫
內科胃腸病 診察夜九時迄
石川醫院 電話 專用二七三九番 三三三番

苹果苗特別販賣
紅玉 國光 大和錦
紅魁 柳玉 祝
天津水蜜桃、上海、土用
アムス、極早生魁桃
吉野櫻
一等苗四尺以上伸切 百本七十錢
一等苗四尺以上伸切 百本一圓
一等苗二尺五寸以上伸切 百本一圓五十錢
同 百本一圓七十錢
一等苗四尺以上伸切 百本一圓三十錢
十錢二年生百本一圓三十錢八
右の種類は弊園多數持合有之候に付右の通り大安價を以て販賣仕り候間御注文御付被下度尚營業案內御入用の節は御申越次第送呈仕候
內外種苗植木 活花材料生産 販賣問屋
埼玉縣北足立郡戶塚村
埼玉農園 振替東京一〇五五四番

卷莨 品質本位
君が代……定價五錢
三笠……定價三錢
敷島……定價二錢五厘
前之園商會 大邱電話長二一四一番

越後大評定

第百七十席 早川貞水口演

光圀の奥州視察

愈々光圀公は、其昔北條五代の執權相模守時頼の例に倣ひ、行脚の僧に扮装ち給ひ、網代の笠に藜の杖、御供の松雪庵元起また同じく出家姿にて、先づ奥羽さして御出立になりましたが、日を重ねて御着きになつたのが、奥州遠田郡船岡と云ふ所、此處は仙臺家の悪人原田甲斐宣則の領分、當時伊達安藝宗重公の一子、式部宗倫が御預かりで御座いまして、『船岡八千石涌谷領』と云ふ、八寸角の棒杭が所々に立つてあります、今日は城山掃除と見えて、大勢莚の上に坐つて、茶を喫んで高聲に話して居る、其處より五六間隔つて三四名居ります所へ、光圀公御通り掛りに相成り 光『コレ〱百姓共』『ヘエ』光『船岡八千石涌谷領と認めてあるが、涌谷と云ふは、奥州遠田郡涌谷の城主伊達安藝の今は領分と相見えるな、先代の安藝は、大老酒井雅樂頭の屋敷にて原田甲斐のため討たれた、今の安藝と云ふは、其伜にして、前名兵庫と申した者であらう』百姓共之を聞いて○『何だ、えれえ大風な坊主ぢやねえか、俺が御領主様の事を、安藝々々と呼捨てにしやがつて、此馬鹿坊主奴が』と〆切新田の勘太郎が、呑み掛けて居た茶碗を、恐れ多くも光圀公の御體を目蒐けて投げ付けた、ヒラリ體を交はし避けにしたから、茶碗は外れたが、呑み掛けの茶が御身體へサット掛かる、御供の元起大に怒り、既に手にしたる鐵の如意を拔取るが早いか、勘太郎の眞額へハッシとしたゝかに打つ『イヤ打やがつたな』と云ふと一同の百姓手に〱鍬鋤を把り、八方より打つて蒐る元起は光圀公を後ろに『サア來い來れ』と眞影流の達人、殊に大力無双、更に恐るゝ氣色もなく仁王立ちに突立ちたるを、百姓共は出家と侮り『何を小癪な青道心』と今や一大修羅場を演ぜんとする有樣。

この時光圀公元起を遮り 光『元起暫く待てッ、ア、予が悪かつた、百姓共は予の身分を知らぬに依て、安藝々々と呼捨てにしたるを怒るは道理千萬、併し今此處で予が姓名を名乗り聞かしたればとて、一文不通の百姓共、迚も解る氣遣ひはないに依て、其者より何れ支配の代官か、涌谷出役の者共が参り居るであらう、其者に會つて事の次第を申し聞け、時宜に依らば涌谷へ罷り越し、安藝にも對面して、政治向きの相談も致さうから、先づ暫らく控へろ』コレ〱百姓共此方は安藝と呼捨てべき身分ぢやに依て、安藝々々と申したが斯く見すぼらしき出家の扮装ゆゑ、予が本名を知らず致して、其無禮を咎めたのであらう、併し一言領主を呼捨てたを殘念に心得、打つて掛らんとする汝等の心底、領主役人を敬むの志、感服の至り、何れ當所には代官支配所とか云ふ、涌谷役人共の出張所があらう、其處へ案内を致せ、然すれば予の身分も相解る』○『其方で逃げると云つても引立つて行くだ、御領主を勿體もねえ呼捨てにしやがつて、此罰當り奴が』と云ふて藤蔓を持つて來て大勢寄つて集つて光圀公と元起の二人を縛り上げエッサ〱と舁くが如くに引立てる。

泌尿器病 腎臓病 膀胱病 淋病 梅毒 痔瘻 皮膚病 專門
入院隨意(診療夜九時迄)
永樂町二丁目 金光教會隣り
安部醫院 電話一四九一番

三月廿八日 九星 舊二月廿五日 甲子 本命 四緑 納 友引

▲廣告▼

胃弱家の顔色

胃が悪くば、食物が消化せず、血の循環が悪く、顔色が青黒くなり、仕事に根氣と勇氣が無くなる、此んな時には五大陸の合議製藥として評判の好い胃活を飲むに限ります。後刻と言へば時機を過る、今直ぐに

胃病良藥 胃活

定價 一圓、拾錢、廿錢 [illegible]
請賣全國及海外要所の名藥店にあり
本舗 東京日本橋本銀町 山田安民藥房 大阪南久寶寺町二 山田安民藥房

京城春川間自働車運轉
京城發午前八時 春川發午前九時
京城南大門通一丁目二十二番地 廣橋京春自働車組 電話二一九番 專務 金正鴻

第二十五回 新學期

小學校卒業生が中學校に入らずして中學校同様の學力を得らるゝ中學講義錄を看よ

大日本國民中學會

學制改革學年短縮を斷行し講義錄全部を刷新改版して新學期を開講す

■講義見本つき規則書無料進呈■

名譽會長 正三位 尾崎行雄
學監 文學博士 遠藤隆吉 理學博士 山内繁雄
學事 文學博士 三宅雄二郎 法學博士 浮田和民 正四位 岡田良平
顧問 法學博士 和田垣謙三 農學博士 新渡戸稲造

第二十五回新學期開講講義錄大改良記念として此際至急入會者には入會金全免 參考書進呈 會費免除等大特典の外獎學金を贈呈す至急申込あれ

東京神田駿河臺 電話本局 [illegible] 大日本國民中學會

素顔の美を一入美しく床しくする様令を

クレームレートで

宮内省御用 皇后宮職 各宮家御用品

肌理を細かに地肌を滑らかにいつも白粉附を良くして置くのが一番大事な化粧法です

殿男の方さへ今はクレームレートを日々召さぬ方はありません

寒さに荒れたお顔もお肌もクレームレートで直ぐ治ります

東京 平尾賛平

瀬戸外科皮膚科醫院
旭町二丁目(舊三丁目)
醫學士 瀬戸潔
(電話二四九八番)
診察夜九時まで

クスリはホシ ジチオール
リウマチス 神經痛 打身 切傷 [illegible]
鎮痛 止痒
定價 廿錢、五十錢、一圓

焼麩 製菓原料 各種粉類 製造
大邱府郵便局前 大野支店工場 電話三七番

質 [illegible] 堀佐營業所

宮内省御買上◎各宮家御用
ミルド 化粧液
二條公 土方伯 大原伯 御愛用
小久保 白井 兩醫學博士證明
付ける程色白くなる不思議の美顔料
東京の貴族は必ずミルドを愛用せらる
東京 ミルド商會

撞球界の泰斗 王乃一熊著
撞球指南
玉突の理論と實際を解説せる初學者の入門熟達者の虎の巻
「東京朝日」評 我が撞球界に於ける科學的知識と技術の卓抜並ぶものなき點に於て斯界の權威として推さるゝ著者の最も統一せる述作なり本邦撞球者の爲に他に類例なき好指導として推薦すべき者なり
菊版上製三百餘頁 總クロース美装函入
定價壹圓五拾錢 □郵税金二十錢□
發賣所 京城太平通壹丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

淋病新藥 ツヨール
發賣元 東京市日本橋區本町 [illegible] ツヨール商會 電話本局 [illegible] (說明書無料贈呈)

京城日報

廿七日朝刊 (夕刊と合せて八頁)

本紙定價 一部金三錢五厘 一ヶ月金拾錢(郵税共) 前金ニアラザレバ送付セズ
廣告料 五號活字一行金拾五錢 ▲特別指定一行金四拾錢
發行兼編輯人 奥田直毅 印刷人 宇口政太郎
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社

第二版

…從業者の如く頭や手足み真黒にするは視察者の語る所である、此等の掃除人の中にて強壯にして能力あるも…

朝鮮工業政策

京城日報

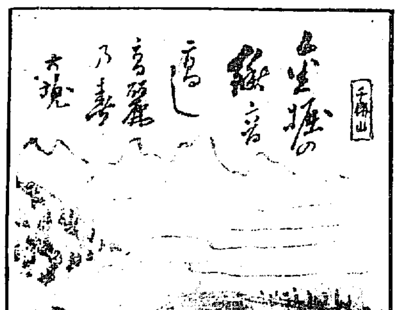
今日經濟學上より工業政策を論ずるもの、主として大工業を擇ぶの傾きあり。乃ち尋常經濟上の理數を以て之を推すときは、製造工業は大規模の大計畫に利多くして、小仕掛小企畫に益するところ寡し。是れ其の利益大なるものを擇びて取るべしと爲す所以にして、政治家財政家亦好みて紡績業、製鐵業、造船業、鑛山業の爲めに其力を傾倒するの實あり。併しながら大工業主義亦多少の參酌する所なきを得ざるなり。大資本あり大事業ありて此に其利益を收むるの計としては固より甚だ可なりと雖も、其國民の小資本は如何。且大事業以外小仕掛小規模にて營むべき業務甚だ多く、一個の事業としては小なりと雖も、其を積集するときは其分量及び效果は、大規模大事業よりも大なるものあり、往年獨逸經濟學者シユルツエ、ゲバーニッツの英吉利に赴いて、其紡績地方、製鐵地方の大工業を視察して、大に其隆盛に驚き、工業は大規模大仕掛ならざるべからずと爲し、自國の小工業組織を非難したれども、是れ寧ろ誤謬説の過に陷れるものにして、英國の大工業の稱すべきごとく獨逸の小工業亦最も稱すべきものあり。且此度の歐洲大戰役にて、世界的經濟關係に大阻隔を生ずるや、英吉利及び北米合衆國は、最も染料、藥劑、化學工業品、器機若くは玻璃器の缺乏に苦み、是等材料不足の爲めに、農業及び大工業の上に、大打擊を受くるといふ有樣なれども、是等種々雜多なる小工業は、一朝にして之を興作すべきにあらず、是等諸國民は已を得ずして手を空くして戰爭の終るを待つといふ次第なり。夫れ小工業は其資本額小なりといふも、其收益は則ち決して小ならず。且其の一般經濟社會の組織上より云ふときは小工業の發達は、則ち最も大工業の發達を助くる所以なり。只近年の資本側は、兎角に大工業に偏倚し、其事業の小なるものを閑却するの實あり。是れ此度の戰役に及びて、其の大缺陷に苦む所以なり。顧みて我朝鮮の如きは、天然の富資測るべからざる上に、日本帝國と亞細亞大陸との中間に介立して經濟的作業の中樞たるべき地位に在り只資本[illegible]かなりとせず、且百事發達[illegible]一事を擧ぐるも容易ならざる狀況の下にあり、大資本家大事業家の來りて其業を興すものも僅かに鑛山業其他一二に始し易きものに從事するに過ぎざれども、實は我朝鮮の如き處こそ、最も小工業の發達に適應なるものと云ふべくして、發造の初めに於て、其根本方針を立て、家庭工業小規模工場にて營むべき事業を擇び、多くの人に種々の事業を授けて、其の彬々として進歩するを圖るときは、此半島は則ち帝國の分工場たり、材料必要品供給處たり、以て其經濟組織を完全ならしむるを得べきなり。之を事實に徴するも獨逸國民の如きは、小工業の成功者たり。和蘭、丁抹、瑞典、諾威、瑞西の富資文明は主として各種小工業の賜たることを思ふときは、工業政策の根本要義亦甚だ知り難からざるなり

京城雜筆

山縣生

▲平和の曙光は既に歐洲の天地に現はれたるが如し。過日佛國の處相リボー氏は戰爭の終局近きたりと述べたりと傳へられ、今又獨逸の宰相は駐獨米國大使に對し、米國が媾和に斡旋すべき時機愈々近よりたることを言明したりと報せらる。いづれにしても今次の大戰亂が落著すべき日の來るは遠からざるに似たり。▲戰後の世界は如何なる狀態を呈すべきや。戰爭が勝負無しに了らば、列國の政治的變化は比較的少小ならんなれど、若しも決定的勝利が交戰國の孰れかを惠まば世界の地圖の色は塗り變へらるゝ事もあるべし。吾人は如何に世界の局面が變化するも、これに對して措置を謬らず、我地歩を鞏固にするの準備を今より整へ置くを要す。▲政治的局面の如何に變化するか、今より逆睹するは難しと雖も、世界列國の經濟界に異常の變化來るべきは火を見るよりも明なり。此變化は既に來りつゝあり。少數の幸運者は多大の產を作るを得たれど、一般の人民は物價の騰貴を經驗し、生活難は漸く彼等を見舞んとしつゝあり。▲戰爭に參加したる列國が多大の軍費を支出したるが爲めに、重大なる債務を負ふに至り、其結果租税の增加を圖らざるべからざるは言ふ迄もなし。獨逸の如き、ハンブルゲル、ナハリヒテン紙の計算によれば其戰時公債は二百億乃至二百五十億圓に達し、其年利のみにても十億乃至十二億五千圓に及ぶべく、かくて國費は從來の三倍に增加すべしといふ。▲英佛露の諸國も亦國費の膨漲する獨逸に劣らざるべく、我國に於ても亦吾人の負擔は增すとも減少する事あらじ。一方に於てかく租税の增加し來ると共に、戰時中物資の消費の甚大なると、生產力の減少も亦甚だ著しきものあれば、勢ひ物價は騰貴せざるべからず。思ふに今日の物價騰貴の趨勢は久しく繼續すべし。今に於てこれに備ふるに非ずんば、生活の困難は直に吾人の門戸を叩くならん。

▲世界の人民は殆ど無意識に生活難の其前途に橫はりつゝある事を覺悟しつゝあり。交戰列國に於てはいふ迄もなく、今回の戰爭によりて最も多く利益を占めたる米國に於てすら識者は早くも將に來るべき經濟的危險を警告し、人民に向ひて節儉を勸奬するに努力しつゝあり。▲一例をいへば米國の國民教育會に於ては公立學校に於て節儉を教ふるの文を賞金を懸けて募集しつゝあり。マサチユセッツ州スプリングフイールド市に於ては近く節儉週日なるものを設定し、市民一般に一週間節儉を守らしめて此美風に慣れしむるの策を執りし事あり。他の市府に於てもこれに倣はんとし、講壇に、新聞紙上に節儉を說く者甚だ多し。▲本文の記者が『富の道しるべ』を著したるは我同胞に勤儉の大切なる事を悟らしめ、前途に橫はる生活難に打勝たしめんと希ふが故なり。記者は指導者たる人々が、之を其家族親近者、其部下の人々等に讀ましめ、彼等の奢侈遊惰に陷るを防ぎ、彼等をして將に來らんとする新時代に安心と勇氣とを以て向はしめられんことを切望す。



村田旭仙筆 野田大塊贊

北鮮の山水 (20)

東拓理事 村田俊彦

八、咸南の浦輪

養氣、兵法、武藝

太祖が倦勤を奏せし所以のもの、思ふに一に勇、二に謀、三に射御なるべし。射御は太祖の最も得意とせる武藝なりしが如く、矢を射るや百發百中的ならざるなく、馬を御するや手足を使ふが如く、戰鬪中騎射の武者振、恰かも平地に遊ぶが如く曲藝を爲すが如くなりしは前に述べたる戰記によりても之を窺ふことを得べし。又射御は太祖の最も好み最も善く學びしものなるが如く、其未だ咸興地方に在るや、練磨怠らざりしは歷史並に遺跡の詳に吾人に語るところなり。此等の武藝は當時將としても缺ぐべからざるものたりしなり。太祖は亦謀に長じたるが如し。軍中自ら兵法を說きしのみならず、其爲せしところを見るに吾人門外漢を以てするも、悉く兵法に合せるやの感あり。戌子の役、太祖が敵を追て咸關東嶺の二嶺を越えしにも拘はらず、退て荅相谷に陣し、敵を誘て德山洞に阨せしめしは、孫子の地形章九地章及び吳子の應變章等に說ける所と同一の意に出づるものなりと云ふ可からざるか。地形章に曰く、我も以て行くべく彼も以て來るべきを通と云ふ、通の形は先づ高陽に居り糧道を利し以て戰へば則ち利ありと。又九地章に曰く人の地に入りて深からざるものを輕地となす、輕地には止まること勿れ、我も以て往く可く彼も以て來るべきを交地と爲す、交地には絕つこと勿れと。又應變章に曰く、戰勝て追ふこと勿れと。又曰く、諸丘陵林谷深山大澤は疾く行きて亟に去れと。次に太祖が夜に乘じて勞れたる德山洞の敵を襲ひ、又敵の東險嶺を上らんとするものを突擊せしは、孫子の所謂虛實の法に合せるものと云ふべからざるか。孫子曰く、先づ戰地に處て敵を待つ者は佚し、後に戰地に處て戰に趨く者は勞す、故に善く戰ふ者は人を致して人に致されず。又曰く、其趨かざる所に出て、其意はざる所に趨く。攻て必ず取るは其守らざるところを攻むればなり、守りて必ず固きは其攻めざるところを守ればなり、故に善く攻むる者は敵其守る所を知らず、善く守る者は敵其攻むる所を知らず、微なるかな微なるかな無形に至る、神なるかな神なるかな無聲に至る、故に能く敵の司命となる。進んで禦ぐべからざるものは其虛を衝けばなり、退いても追ふべからざるものは速にして及ぶべからざればなり。又曰く人に形して我形無きときは我專にして敵分る。我專にして一となり敵は分れて十となる、是十を以て其一を攻むるなり、則ち我は衆にして敵は寡、能く衆を以て寡を擊てば吾の與に戰ふ者約なり、吾の與に戰ふ所の地知らしむべからずと。太祖が杳音洞に於て弱を攻むべしと云ひたるは蓋し此十を以て其一を攻むるの意に外ならざるべし。但虛實の法は唐の太宗が李衛公に述べたる如く兵書の眞髓にして、太祖の用兵皆茲に意を存すと雖も、今玆には其最も顯著なるものを捉へ述べたるのみ。(此項つゞく)

一句づゝ (五の日十の日詠)

○春の雪蕎めきて石にしみ入りぬ　烏堂

○春の雪足袋屋なるものゝ縫ひ[illegible]　目池

日報歌壇

□春近き日　京城　つる子

うすぬくき牛乳瓶をいだきつつ其の乳色をつくづくと見る。

うつらうつら我が魂も眠りゆくさまさんとする力さへなし。

春近き日射しの椽は氣もからう足袋など脫ぎて爪先を見る

□一人ゆく街　京城　古郡子

幾山川さすらふよりも悲しきは母にわかれて一人ゆく街。

いつしかに佛を念づる心より涙もろくも生くるわれかな。

悲しかるいとせめてもの思ひ出に諦ひ見ぬまた熊野の一ふし。

いと小さき身にあまりあまる愁をば得てしとばかりに涙くまれぬ。

購買入札
一白米貳百五拾石 總督府醫院納
一特等米一石當三十八貫六百匁以上
一大麥外四點 總督官邸納
一馬糧用
右詳細ハ三月廿七日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ
朝鮮總督府

●鐵道局電信修技生募集
當局電信修技生十五名ヲ朝鮮人ヨリ募集ス詳細ハ三月二十五日以降ノ官報又ハ當局從事員教習所ニ就キ承合スベシ
大正五年三月二十日
朝鮮總督府鐵道局

營業案內

京城春川間 乘合自働車
○京城發…午前七時
○春川發…午後二時
片道賃金四圓
京城水標橋五十番
京春自働車商會
電二二三八

ハイテツヨイ
足袋は 大正足袋に限る
ジヨウブデケイザイ

新柄春向半襟 造花材料品揃
京城本町二丁目
松菊屋小間物店
電話二四六 振替京城三三三

石灰の覇王
銀牌受領始政五年記念共進會
□肥料用 □建築用 □工業用 □消毒用 □壁化用
セメント 佐官材料一式 問屋
長谷川商店 電話三八三
製造工場京城麻浦

ブラシ
內外各種ブラシ製造 原毛販賣
京城漢江通
岩宮商會 電話一一四番

長壽靈品は「ヨーグルト」
京城若草町 荒井牛乳販賣部 電話一〇〇四番
滋養と健康の母は荒井の牛乳

毛皮なめし
御用命仰付被下度候
京城本町二丁目
日東商會 電話二二〇番

木材界の大福音
「阿里山檜材の大飛躍」
阿里山檜材は畏くも明治神宮御用材として幾多木材中より御選定の光榮を得たるは眞に斯界の誇りと云ふべし今本材の特長を左に掲げんに
■阿里山檜材「は木曾産檜材に比し木地細微なるが故に材質極めて硬く耐久力に富み腐朽することなきを以て尤も堅牢を要する永久的建築用材として他に比類なし」
■阿里山檜材「は外觀甚だ優美にして幅一尺以上の柾目取容易なるを以て高等向の用材として極めて好適なり」
■阿里山檜材「は材質堅牢なるか上に價格低廉なるを以て現下極めて不廉にして缺乏せる鐵材代用品として本材の右に出るものなし」
■阿里山檜材「は長さ六〇尺以上末口三尺以上迄搬出し得るを以て長大を要する使用向として最も適當なり」
■阿里山檜材「は他の針葉樹の如く使用後濕潤乾燥の爲め縱橫共伸縮するの憂は少なし故に建具其他指物用として盛かんに好評を博しつゝあり」
■阿里山檜材「は朝鮮鐵道局を初め東洋各地到る所に於て空前の需要を喚起しつゝあり以て本材が如何に他材に優越せるかを知るべし」
■阿里山檜材「は扁拍と紅檜との二種にして扁拍は材質最良なるを以て高等用材として歡迎せられ紅檜は價格低廉なるを以て廣く需要せられつゝあり」

臺灣阿里山木材各種 朝鮮一手販賣店
京城府岡崎町
大一商會 電話二〇九〇番

特約販賣店
仁川 大一商會
京城 小森材木店
釜山 島末材木店
釜山 山本材木店
元山 大二商會元山支店
群山 木村支店材木部
群山 大澤商會材木部
木浦 木下材木店
木浦 谷村材木店
木浦 渡邊材木店
平壤 中村組材木店
南浦 鎮南浦材木商會
大邱 佐藤材木店

■御註文の節は多少に拘らず最寄特約販賣店へ御用命被仰付度候

臺灣阿里山木材各種日本關西海外一手販賣元
神戶 合名會社鈴木商店 京城出張所
京城府南大門通二丁目
電話二九二四番・電信略號受信ケイゼウカネタツ發信タツ又はタ
大日本鹽業株式會社輸入關東洲鹽販賣代理店
株式會社帝國麥酒代理店
サクラビール釀造元株式會社代理店
株式會社神戶製綱所代理店
青島鹽直輸入販賣店

正貨沒收と獨の抗議
獨逸の威嚇手段＝我政府頑として應ぜず

青島陷落の際我軍の戰利品に歸したる獨逸の正貨百五十萬元は同地に備へ付けたる各種の帳簿に依り官有財産たる事明白なりしを以て我政府は之を沒收したるが此の處分に對し獨逸政府は嘗に一度米國政府を介して抗議を申込み來りしを以て我政府は之を反駁したるが獨逸政府は過般又復米國政府を介して再抗議を申し出で且つ日本政府にして飽迄正貨を沒收せんとならば獨逸政府は之に對し報復手段を講ず可き旨を通じ來りたり而して其の報復手段とは我が日本銀行の所有にして獨逸帝國銀行に預入れある正貨二百萬圓を沒收すべしといふにあり右は勿論威嚇の意味なる可く青島の獨逸正貨に對しては戰時國際公法上之を沒收するは我政府當然の權利なり之に反し獨逸の差押へたる正貨は日本銀行所有財産にして獨逸政府が之を沒收する權利なきは明かなるを以て政府は此の理由を明にし米國政府を經て重ねて獨逸の抗議を蹴ね付けたる由なれば今後恐らくは抗議を申込む勇氣なかるべし(東京特電)

露軍敵の强襲を撃退

露都公報に曰くリガ地方に於て猛烈なる戰鬪あり露軍は勝に乘じてヤコブスダット方面の敵の前線を突破せり▲ドウキンスクの南方に於ける敵は猛烈なる逆襲を行ひ露軍が前日占領せる塹壕の一部を取返せり▲ナロッチ地方に於ては激戰繼續中にして露軍は敵の逆襲を撃退し猛烈なる砲火の掩護の下にナブデ湖西南に向ひ進軍中なり(露都電報)

兩艦會戰の末沈沒

倫敦來電に曰く二月二十九日北海に於ける英國假裝巡洋艦アルカンタラ號(一五、三〇〇噸)及び獨逸巡洋艦グリーフ號の兩艦會戰の結果兩艦共沈沒したるもアルカンタラ號は全部沈沒する迄に至らずグリーフ號の乘組員三百名中百二十名を捕虜とせり其の際アルカンタラ號にも七十四名の死者を出せり(紐育電報)

讓渡軍艦出港

露國に讓渡す可き軍艦宗谷、相模、丹後の三隻は二十六七日中に吳軍港を發し浦港に到り本月末迄に讓渡しの手續を了する豫定なるが右三艦の代金一千五百五十萬圓は一時露國大藏省證券を交附し追つて正貨を送附する事となりたりと(東京特電)

法學博士推薦

法學博士會にては二十五日午後一時より文部省修文館に於て總會を開き穗積會長外九十一名出席各會員の推薦に係る博士候補者三十六名に就き投票を行ひたる結果左記十一名を推薦する事に決定せり(東京特電)

檢事　泉二新熊
判事　谷野格
檢事　松岡義正
辯護士　板倉松太郎
行政裁判所評定官　岩田宙造
會計檢査院檢査官　窪田靜太郎
高等商業學校教授　工藤一記
同講師　三浦新七
同　左右田喜一郎
慶應義塾教授　神戸虎次郎
同　氣賀勘重
高等海員審判所理事　市村富久
新聞記者　本多精一

道長官異動發表

去る二十四日の閣議に於て朝鮮總督府道長官異動の件を可決御裁可を經たるに付き二十七日發表の筈(東京特電)

滿洲の工業地
撫順の化學工業

撫順は有名なる炭坑所在地にして其の豐富なる石炭を利用し種々の工業を興すに適當なる地點なる爲め數年前より同地方に化學工業を起さんとて種々計畫されし事あるも時運熟せざりしが爲め實行を見ざりしが昨今日本內地に於ける工業熱の勃興に伴れ內地資本家中にも滿洲の工業に著目する者あるに至りしかば此機を逸せず撫順に工業を起さんとて撫順炭坑長工學博士米倉滿族氏の發案に基づき滿鐵にては愈々

▲モンド瓦斯 發電所の擴張を行ひ之と共に窒素肥料製造工場及び硫酸製造工場等の化學工業を起す事に決し其の事業費として滿鐵興業費より約四百五十萬圓を支出し昨年中成立せし電氣化學工業株式會社と提携して事業開始の運びとなるべく先づ百二三十萬圓投資の下に漸次其の擴張を計るべき計畫なり米倉炭坑長は數年前約一千萬圓の豫算を以て撫順に化學工業を起さんと企てたる事あり今回の計畫は之れに比すれば小規模なるも石炭利用の化學工業はこゝに正しく其の端緒を啓けるものと謂ふべく猶之と共に

▲高粱パルプ 製造工場を撫順に設けんとの相談もあり尤も是れは資本金一萬五千圓位の程度にて如何口にその製造を試み其の結果の如何に依り之を撫順に移し改めて大規模にせんとの事にて早急には運びかねらんも既に其の研究及び準備に著手せり此外關東州鹽を以て製出する曹達、硝酸事業の如きも其の動力を撫順に仰ぐの時機は到來すべく而して炭坑事業の如きも愈々滿鐵において茶工に決せば撫順とも深き關係を結ぶべく是等は總て將來の見込なるも斯くして撫順は

▲一大工業地 即ち滿洲に於ける唯一の大工業地となるべく元來豐富なる石炭の外に渾河の水利を得れば自然に化學工業地たり得べき運命にありし事なれば今回開始に決せるモンド瓦斯利用の動力の中心ともなるべき窒素、硫酸製造事業は其の發端に過ぎざるものと認めらる(大連)

記念植樹成績(下)

▲挿條成績 は白楊類二百二十九萬本、雜(ヤナギ大部を占む)二百四十萬本、計四百六十九萬本にして其活著步合は白楊樹類七割九分、雜(ヤナギ大部を占む)六割四分、平均七割一分なり、而して更に之を道別に比較すれば平安南道の八割最も良好にして京畿道の八割五分、慶尙南道の八割四分、慶尙北道の八割二分、平安北道の七割七分、咸鏡南道及び全羅北道の各七割六分、全羅南道の七割一分、江原道の六割五分、黄海道の五割二分順次相亞ぎ咸鏡北道の三割六分最も不良なり

▲天然苗木 はアカマツ及びクロマツ百三十六萬本、雜(テウセンモミ及びハンノキ等)十八萬本、クヌギ千五百本、白楊類五百二十本、計百五十四萬本にして其活著步合は白楊類八割、雜(テッセンモミ及びハンノキ等)七割八分アカマツ及びクロマツ各六割七分、クヌギ六割七分、平均六割九分也、而して更に道別に比較すれば忠淸南道七割七分最も良好にして全羅南道の七割五分、咸鏡北道の七割二分、咸鏡南道京畿道及び江原道の各七割一分、平安北道及び平安南道の各七割、全羅北道の六割七分、慶尙北道の五割六分、黄海道の五割二分最も不良なり

▲比較成績 各年苗木の平均活著步合を比較すれば養成苗は八割三分、挿條は七割一分にして天然苗は養成苗に比し著しく劣りて六割九分に當れり、天然苗は既往數回の成績に鑑み成る可く之が植栽を避くることゝせるも奧地方に在りては養成苗の配給未だ充分ならざる爲め今尙ほ往々天然稚樹の移植を爲し又多く白楊樹類及びヤナギの挿條造林を行へり、然れども殖林思想の普及に伴ひ天然稚樹移植の不利なるを知得し漸次共用して苗木を購入し又は養成するの傾向ありて天然苗の植栽は年々減少するの趨勢をなす、第五回記念植樹に於ける活著步合を過去四回の成績に比較せば第一回及び第二回は各六割一分、第三回は六割六分、第四回は七割八分なりしに第五回は七割八分を示し、漸次進步しつゝありと謂ふを得可し

奉天より

▲外蒙古使節 過般來北京に滯留して袁總統の優遇を受けし外蒙古政府使節車臣汗の一行は二十三日京奉列車にて來奉二十四日北上の筈なり歡迎宴に臨み袁總統より活佛への贈物は左の如し
[illegible]四盒、福壽字一對

▲蒙匪と北京 內蒙古の巴布札布が革命、宗社兩黨と結託して事を擧げ大擧南進せんとする由の消息に鑑み北京政府は彼と同旗なる特派特旗出身の關係ある張梅倫を派し且つ之に封ずるを條件として歸順を勸告せしむる事とせり

▲制錢溶解罪 銅價の昂騰に伴れ制錢(孔錢)を溶解して外國人に賣る者多きより之を禁ぜん爲め內務部は制錢十千文以上を鎔毀し又は十千文以下にても再三犯せしものは一等乃至三等有期徒刑に處し緣邊を削り取るものは丙等以下の有期徒刑に處する旨公布せり

▲外國紙幣制限 段奉天巡按使は外國紙幣の流通を制限する目的を以て其定期及び公買賣を嚴禁する旨の命令を發したり(奉天)

採種畓原種發送

京畿道にては道內の採種畓二百二十箇所に要する水陸稻の原種五十五石を水原勸業模範場より各郡宛此程發送したり品種は早神力、多摩錦、日出を始め全部七種にして一箇所三百步當り約六十町步の割合なりと

迎日貯金契良績

慶北浦項には迎日郡守創立委員長となり內鮮人協同の貯金契を組織したるが全部を千口と定め一口每月一圓宛貯蓄せしめ一箇年据置二箇年目より貸付開始三箇年目より利益を配當する方針なるが已に八百口の加入者を得一人にて五十口以上引受けしものもあり成績頗る良好なりと

客月京城火災統計

二月中に於ける京城府內に起れる火災統計を聞くに客月は火災最も少なき月にして失火內地人六、朝鮮人八あり而して火災の度數十五回あり之を細別すれば燒失家屋九半燒三部分燒時消止九燒失坪數六十二坪半にして損害價格は五千三百三十二圓餘に達せりといふが倚之を火災の原因別より見れば炬燵五煖爐一火鉢一煙草の吸殼一小兒の弄火一取灰一不詳一なりといふ

遞信修技生募集

遞信局にては來五月より從事員養成所に入所せしむべき第九回遞信修技生二十名募集の筈なるが內十五名は總て朝鮮人にして局員中より募集し餘の十五名は一般募集を爲すべく來月十四日體格檢査を行ひ十五日學術試驗を行ふ應募希望者は四月十日迄に願書提出すべく同時に履歷書、民籍謄本、身元證明書及び學歷あらば校長の證明を添へ提出すべし但日本人修技生は局員のみにて銓定に達せざるに際しては一般募集をも爲すべし

人事消息

▲勝良直次郎氏(長崎縣會議員) 二十六日夜入京山本旅館へ
▲前田好雄氏(東拓京城支店長) 同上
▲永井權二氏(同群山出張所長) 同上
▲奥村英一氏(同木浦出張所長) 同上
▲淺井佐一郎氏(西城銀行平壤支店長) 同上

國境間島(一)
樵山生

【間島の名稱】 間島は其昔墾島又は北墾島と稱して、北鮮磽确の地方に居住する土民が、此地方の沃腴なるを知り今より約五十年前、漸次移住して開墾耕作せしものにて、其より墾島と通稱さるゝこととなりしが、字音の相似たる點よりして、終に間島と轉訛するに至れり、當時の所謂間島は現在の間島全部を包有したる稱にはあらずして、往時咸鏡北道の鍾城と穩城の間に豆滿江の分流ありて、自ら中洲を形成し、其穩城に接したる一中洲周圍一里未滿の小島をば、附近の鮮人之れを開墾したる時の稱なり、即ち今の古間島は其遺名にして、現時の茂山間島及び會寧間島の稱呼は當時鮮人が對岸の耕地を指呼したる遺名なり

【面積及人口】 間島は今之を東部西部に兩分せられ、東間島は東西廿五里南北四十里、其面積約千三百三十一方里にして西間島は五百二十五方里合計千八百五十七方里なり、即ち之れを吾日本內地に比較すれば佐渡を除きたる北陸道と略ぼ相似たり、又東間島のみにても我四國より稍小なるのみなりと云ふ、西部間島は未開地にして調査せられたるものもなく又調査材料を得ることも困難なれど、東部間島は之れに反し耕地多く、人口の分布濃密なり、大正四年末其筋の調査したる東間島の人口統計に依れば內地人五百四十二人、支那人十二萬千八百四十二人、朝鮮人十九萬八千四百九十二人、歐米人三十八人、合計三十二萬○九百十四人なり

【鮮人の生活】 豆滿江附近に接近せる地方に居住する朝鮮人の生活狀態は土地を所有する者比較的多く、且つ交通の關係上農産物の價格亦奧地に比し、常に高率なれば、生活豐裕なるも、奧地にては小作人にして地主たる支那人に虐待せられ、概して生計困難を告げ居れり、間島の移住鮮人は前にも述べし如く、五十年前北鮮の大凶作に因り、六鎭地方の住民數千人群を爲して移住し、支那人の來往に先立つて豐沃なる地を自由に墾拓し、韓吏の誅求を免れたる國外の一樂天地として耕耘に從ひしが、未だ幾何ならずして、支那人の知る所となり、支那人の移住する者年と共に多く、遂に跋扈跳梁至らざるなく、支那人の風俗習慣に從ふものは、歸化人と見做されて土地を配與せらるゝも之れに服せざる者は豆滿江外に驅逐されて、多年力作の耕地を支那人の手に奪はれ、現在にては小作農民多きに至れり。

南言北語

袁總統は帝政を取消した上に年號も取消しお負けに之れ迄授けた爵位も取消し▲先づ此の通り何うか〳〵と兩手を突いた處は松の廊下で若狹之助に睨まれた師直の樣だ▲斯うなつて來ると共處はお若い南方の殿方であるから巧く理屈にまるめられ相になつて來た▲徐世昌の樣な老人でも遂に引つ張り込まれたが影へ回つてはペロリと袁總統の舌が長からう▲ソロ〳〵早や支那大總統としては袁氏を措て他に最適當者はない今日の場合總統の留任は其の當を得たものだと云ひ出したものがある▲チト芝居が早や過る樣に思はるゝが之れぢや南軍も承知すまい▲何に陸榮廷は帝政取消に贊成して獨立を取消すと、馬鹿な、まさか差等何だつて其の樣な事はあるまい龍濟光が贊成した其れは其の筈サ頸が捻ぢ向きかゝつて居たからホント一息つくからだよ▲要するに南北妥協とすれば嘘言の突き合いで巧く突き當たのが勝だから之から益々得手勝手な事を云つて來るのだらう▲北京政府は帝政取消の理由として六箇條ある相な▲內の三箇條は內者に關したもので他の三箇條は外者に對したものだと云ふ▲日本に對し體面を保つ事と日本がもし袁總統に退位を强迫すれば列强が同意せぬ事▲最う一つは歐洲の戰亂が終れば列强は必ず東洋に注目するとの三箇條が即ち取消の外者に對する分だ▲妙に日本を引張り出したものだ坊主憎けりや袈裟迄憎いのだらうが此方は迷惑千萬だ▲其方が何せうが此方の知つた話ぢやない措て貰ひませう、いらぬおせつかいだ大きに御苦勞▲耳を掩ふて鈴を盜む先生帝政は取消たが退位せぬ事は問ふに落ちず語るに落ちて居るではないか▲人の事より御自分のお足許が危なう御座るよ

お聞きなさい

…の午後六時身宅佛壇の前で四寸ばかりの匕首で美事に割腹し死を以て交…
…に停まつて居た列車の下を潜り抜けようとする時汽車が動き出したので…
…の宴會には『ヒサンカクが來るかイ』入りの流行語だ「ウン來なくつてサ」などゝいふヒサ…
▲酒と蒲鉾で名を…たゝか飲むで切腹して苦しむで居る…
…東を爲し三月一日永田より該金五十…
…昨年十一月中桃山元町一丁目古物商…西京の某女より買物代が不足なれ…
▲娼妓の足抜き 桃山遊廓…

恩人の碑　大町桂月
▼入間川の初陣　男爵淺田大將
▼名所の櫻　三好東京博士
▼海國青年の行くべき道　今岡工學博士
▼宙返り　ナイルス博士　横田萬田
▼新入學生の爲に　元田中學校長　中學校長 八田三郎
▼太平洋日本號　十勝
▼四大悲劇　大中學校長
▼日本號　中學可轉
▼琵琶湖上の端艇　其口學士
恨は長し地中海上の悲劇　山脇長　獨逸潜航艇の爲に、地中海の藻屑となりし八坂丸船長が當時の實驗談、悲壯痛烈一讀血湧き肉躍る！
▼三千年前の…　木村博士
▼英文(眞實の愛)　吉岡州
▼隈伯の雪嶺の耳　大町桂月
▼懸賞謎紹　▼向陵記念祭　一記者
學生　四月號　定價二十錢　郵税金二錢　改正前月三日發賣　共十六冊金一圓四十錢
冨山房　東京　振替五一〇

日本少年　四月號
面白い記事が澤山
△寫眞小説　◎八阪丸遭難記
△大懸賞當選者壹千名　◎少年彫刻家
△探偵活劇　◎中學入學試驗問題
◎動物園見物記
定價拾貳錢　東京實業之日本社　振替三二六

富の道しるべ
山縣五十雄氏　村上唯吉氏合著
誰も貧乏は厭で、安樂有福な暮しを爲たいと願つて居るのですが、暮し方の下手な爲めに、貧乏で苦んで居る人が澤山あります
本には如何すれば金を溜めて、樂な身になる事が出來るかといふ事を、誰にもよく分るやうに易しく面白く書いてあります、例へば、乞食のやうな貧乏な女が百萬圓の長者になつた話もあり、五十歲の水吞百姓か引續く不幸の爲め食ふや、食はずの憂目に落ちたに拘らず、後には樂な身になつた話もあります。
一冊の代價は僅に十五錢、送料は二錢。雜誌一冊の値段ですから捨てたと思つて、買つて讀んで御覽なさい、成程と御悟りになつて、大きな德をなさる事は請合です。
▲一手販賣　京城日報社代理部

外勤社員募集
我社ハ小口ニシテ掛金少ナク新且ツ競爭少キガ故ニ募集ノ容易ナルコト生命保險ト同一ニシテ比較的多收入アル可シ來ル四月ヨリ實施ノ改正法ニ依リ有望者ハ今年度ヨリ利益配當アリ大正町京城代理店(明治町)ニ希望者ハ本月中ニ大阪市天神町二番地日本徵兵保險會社　近く來城ス
日本徵兵保險會社

各種石鹸
京城南大門側消防詰所隣
浦本石鹸工場
電話二二九四番　振替京城三二三九番

果樹苗木
苹果苗、紅魁、祝、紅玉、倭錦、國光
以上五品種各貳年生壹千本以上特價壹千本に付拾五圓にて提供仕り候間何卒御用仰付被下度奉願上候
特色　品種正確　青酸瓦斯燻蒸濟　無病健全
慶南三浪津　振替京城六五〇　林田三浪園

父池端德國病氣中の處藥石効なく三月二十五日午後九時二十分死去仕候間此段辱知諸君に謹告仕候也
追て葬儀は三月二十七日午後四時三十分中町曹洞宗別院に於て執行仕候間此段草葬列を廢し若途中に添申候
男　德山元助
親族　佐藤要智
郡山　木島駒次
安藤堅藏
太田喜太郎
貝沼彌三
上野弘藏
吉留直哉
金井周次郎
高山聰郎
友人總代

…運轉手が殆んど悉く…車掌や驛長に至るまで多く
放蕩をするのを習にして再三意見をに誇つて左賀驛で汽車に乗り換への
したが何しても肯入れぬので十八日際向ふ側の待合へ行くとて丁度そこ

云ふ所によると鮮人從業者は…ま最も是好として男子粹客仲間には賃虫『センガク』さいふ一種の流行語がある『オイ、幾月
何れの停車場も大紙須用かと思つたとへといふのは長福袢を形容したのであ る其れで緋三角即ち藝妓とは隨分念
從業者の缺點といへば割合に被勞すひに死んで了はんと同市町夕方の旧林けきかまぼこを肴に好きな酒をし
業者は酒も飲まねば窃盗も働かない五十間にて京城黄金町一丁目飲食店永田某方へ下女奉公に住み込ます約
にては切符發賣者は勿論の事改札◉腹々しい事件 龍山龍江面東部生れ…(一)は取押へらる
でも近頃鮮人を使用…驛手…たると警務部で發覺し龍山分署元町派遣所の手に
した…より拉主は所轄官署に搜索願ひを提出したり

見學團の京城見物

●誇る可き螺鈿細工

朝鮮古美術の紹繼保存

‖李王職美術製作所近況‖ 李王職美術品製作所は從來餘り世間に知られて居らなかつたが昨年の共進會の際內地及び朝鮮各地から多數の觀覽客が有つて以來其の存在と信用とが廣く社會に紹介されたものと見え近來種々な美術品製作の註文が輻輳せる有樣である製作所一年間の賣品高は約十萬圓內外で其過半は

▽貴金屬彫刻 及び寶石細工品であるが同所の目的は其の製作品を廣く世間に供給すると云ふに非ずして朝鮮在來の美術を傳習保存せしめると云ふ事が第一の目的に成つて居る故に當所に於て製作する美術品は內地又は歐米諸國支那等の美術とは全然別個の方途を取つて飽まで

▽朝鮮の古美術 を紹繼して行く事にして居る製作品の內で特別に力を注で居るものは鑄金織物製螺鈿細工等である鑄金等も當所にては未だ機械を使用して一時間に五個も十個も作り出す樣な事は無く矢張り從來の如く一々手で打ち延ばして作つて居るのであるから杯の樣な小さなものに成ると當所は工作品に對しては利益を見ては居らぬが

▽機械で一時 に幾個も拵へられる物に比べると割合に値が不廉であるが少し大きな花瓶の如きものに成ると內地等にては意匠料又は之れに描く處の揮毫料の如きものが含まれて甚だ高價の物となる製作所に於ては全く

▽原料と工賃 と丈けであるから殆ど比較に成らぬ程の廉價に供給する事が出來る翡翠は支那から輸入して之れに指環又は紋の如くに貴金屬細工を施す事に成つて居るが翡翠は雲南地方の產にある爲め雲貴地方に

▽革命軍起り し以來輸入極めて少く隨つて値も多少高騰して居る織物は製作所創立當時は各道產の少し許りの生糸を以て國產獎勵の意味で織物を始めたのであるが近來に至つては各道の蠶業急激に發達し內地との取引盛んとなり其の相場も亦密接の關係を持つ樣に成つた爲め現今の如く

▽糸相場騰貴 せる時に於ては其の製作品は到底工賃倒れと成り內地の織物よりも却つて高價と成るが如き事有り又緞子繻子等も物品は極めて優良なる物を產すれども對抗者たる支那は極めて工賃の低廉なると其の絹糸は小口の安價なるものを買ひ集め得る關係上織物は比較的低廉にして之れと競爭する能はざる程なり

▽元來鮮職工 は工賃割合に高き上に就業時間亦比較的短かく且つ作業に當つて遲々たるが爲め例へば內地の職工が一日七十錢の賃銀にて羽二重一反宛を織り上げる處を朝鮮人は一日二十五錢の賃銀ながら三日掛りにて漸く一反織り上げると云ふ風なるを以て內地よりも却つて一反に付五錢高の工賃を支拂はざる可からざるに至る有樣なり故に朝鮮職工を今少し

▽長時間就業 せしむる習慣を馴致するか或は內地職工等と同樣敏捷に作業せしむる樣に訓練せしむる事を緊要とす、製墨は又製作所に於て最も力を盡す處の物にして近來其の良質漸く一般に認められ內地への土產品として及び朝鮮各地の學校等より多大の

▽製作注文を 引受けて居る製作所の製墨は內地製の物に比し其の質優良にして値も殆ど半額に達せず眞正の油煙を用ひ居れば光澤極めて美しく總督の用墨なども玆に於て製作せしものである

▽朝鮮の墨は 元來海州の名產なりし處近來海州の製墨法衰へ爲めに黃海道廳より傳習生を製作所に派遣し居れり又螺鈿は古來朝鮮美術の誇りとして極めて精巧なるものを產し居れるが美術製作所にては更に高麗時代の粹を萃め數人の職工其の製作に從事し居れり

▽製作品の主 なるものは硯函大小、机、衣櫃、膳、盆等なりとす螺鈿細工は最も細密を要する處の物にして其の職工の如きも幼少時代より致養せざるべからず其の製作の如きも頗る時日を要すと(矢田製作所主任談)

◉熊と相撲が取りたい

水兵の京城見物

二十六日午前九時十分南大門著列車で仁川碇泊中の第三艦隊乘組將校兵士千二百餘名は京城見學の爲めに入京したプラットホームから駈足で瞬く間に隊列が整ふと南大門通りを鍾路の方へ進んで行く

▲海の上から出 て來た水兵達が如何にも嬉しさうな顏をして話し合うて行く『オイオイ此れが南大門と云ふのかい隨分大きな門だなイヤ之れあ南大門ぢやない崇禮門と書いて有らあ』『ソウサ南大門と云ふのは停車場の事だよプラットホームに書いてあつたぢやないか南大門驛テ』『イヨ篦棒に大きな錠だなあ此れぢや辨慶にもとても持てめいよ』

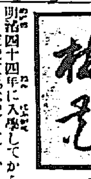
▲京城の大時計 ださうだ『君之れが昔し此の鐘が鳴らなければ京城の人達は寢る事も起る事も飯を喰べる事も出來なかつたさうだ』『それぢや軍艦の喇叭の樣なものぢやないか』『パコダ公園へ行くとパコダ公園と云ふのは塔公園と云ふ事ださうだ塔と云ふ事を英語でパコダと云ふのだつて田少將殿が云つてたぜ』『ヤア之れが淸正が下した塔の頭か淸正は力が强かつたと見えるな』それから更に秘苑に行く、水兵達の

▲一番悅ぶのは 動物園である『オイ〳〵狎てえ奴柔順な面をして居るぢやないかソラ向ふで駱駝が走つてるぜ面白いぞ〳〵此方へ來て見たまへ河馬のお母さん餓鬼が甞寢をして居やがらイヤに穢ならしい皮ツ面らをして居るナ此の熊は明石將軍が捕まへたんだと書いてあらあ淸正は虎狩明石さんは熊の生捕りをしたんだね面白い〳〵熊の奴は馬鹿に相撲が好きだと見えるなあ軍艦でもあんな奴を一匹飼つて置くと好いなア乃公等は毎日熊と相撲を取つてやる』と無邪氣な其會話は却々に面白いやがて一同は萌え初めた

▲柳の下で晝食 の行厨を濟ましそれより景福宮の美術館を觀覽し同所に於て隊列を解散して各自由行動を取る事となり美術製作所に這入つて買物する者もあれば或は七八人一團となつて菓子屋へ突進するのも有つた午後三時南大門驛前に集合し同三時五十分發列車にて歸仁した

卒業生かゞみ

京城高等女學校卒業生 苦米地ずゑ子



明治四十四年に入學してから一度も主席を下りず、今年各科平均九十點と云ふ女學校創立以來の最好成績で卒業したずゑ子さんは、家庭に在ては十一名と云ふ大家族を、小學校に在學中から姨さんと一日交代で、炊爨、掃除、洗濯其他萬端の世話をしながら通學して居たのであります。溫順で貞業で友情に濃かで學校では級長として校友に愛され、家庭では兄さんの六人の子供衆からお姉さん〳〵と懷かれて居ます、手藝は殊に何でも得意で一家の衣類は皆ずゑ子さんが受持つて仕立てるさうです。今後は當分家庭で專ら家事に當り此上にも實地の修養を積みたいといふのがずゑ子さんの希望ださうです

◉五圓紙幣十枚を僞造す

愛媛縣溫泉郡川上村生れ當時京城南大門通五丁目稻葉旅館止宿中の野口淸記(二一)は郷里愛媛縣にて小學校代用教員巡査等を勤めし事あり其後渡鮮入京して本年一月より旭町二丁目の下宿に止宿中北米倉町飲食店田杉方の雇女中由きく(一九)と情を通じて所持金を浪費したる結果惡意を起し下宿の一室に閉ぢ籠り朝鮮銀行券五圓紙幣十枚を僞造し之を携へて本月二十二日夜北米倉町蝟南厚黃文秀方に赴き右の僞造貨幣を行使したる際端なくも發覺して本町署に引致さる

舌の力

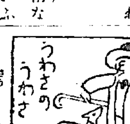
▲義務厭ひ 辯護士訪問記

折角のお訊ねだが金錢に關する紛糾にはこちらでは餘り面白い事件がない、また世間に面白いと云ふたところで素人の興味を惹くのとわれ〳〵

◇餅屋の眼から 面白いといふのとは其の間非常な徑庭がある、元來金錢の貸借といふ事は借りた方で飽くまで返す、貸した方では取り立てるさいふのが正當なとで別段これに頭を捻る程の問題でもない、併し私は思ふ、朝鮮では今少し一般の人の法律思想を養ひたいものである、何分われ〳〵が事件の依賴を受けるにしても京仁間の內地人を合して七八萬人に過ぎない今日の有樣では主として全朝鮮の鮮人をお客とせなければならぬ次第である、然るに朝鮮の人の訴訟と云ふのは如何にも幼稚な莫迦々々しい事件で珍しくないので困つて了ふ、現に過般も一人の鮮人が來て流暢な日本語で語つて曰ふには賃は私は一軒の貸家を有つて居るが私の貸家に居る男といふのが不都合な者で一錢たりとも納めて居らぬ、そこで私は貴殿に一つ御願ひして家賃を取り立てゝ貰ひたいが何うであらうか、との申込みであつた、それで私はそれにまでわれ〳〵を煩はすにも及ばぬ事であるから御自分でお行りなさいといふと、否、實は先方の男は曾て私が或る者に宛てゝ振り出した手形を有つて居るので今私から家賃を支拂つて吳れと請求すれば必ずや雙方を相殺するに定つて居る、且つ又私の受取るべき家賃と支拂ふべき手形の額面金額とは大差なきのみならず却つて私の方から足して拂はねばならぬかと思ふから何うか手形の金は拂はないで家賃だけ受取るやうな手段は無からうか……このはなしであつた、是れは餘りに落語めいたはなしだけれ共依賴者は相當內地に留學した程の怜悧な男であつたから一般

◇鮮人の法律思想 は略ぼ想像するだらうかと私はつく〴〵考へたとであつた、私の經驗によると鮮人の多くは義務を負ふ事は厭ひて權利を主張する事に好きであるらしい、金を返す事はなか〳〵行らぬが代りに貸金の督促には實に敏を極めた遣方をする、なに私の辯護士生活か、私は學校を出てから三度辯護士の登錄をした、京城でも今年に入てから開業し陸軍にも居たし又南支那雲貴總督の招聘に應じて雲南府の法政學堂にも居た、私の常に垂涎に堪へぬのは雲南省の鑛物と佛領印度支那の大富源だ、彼地の富は豪渺なとが足許にも及ばぬ處だ、本當に羨ましい國である(加古貞太郎氏談)

うわさのうわさ



▲土曜日の夜南大門驛を出發東上した海軍飛行將校和田大尉は佛蘭西で頗る滋野男に逢つた相な▲滋野男の巴里に於ける評判は非常に好くて何處に行つても大持てゞあるといふ▲內地の新聞には一時男の負傷を傳へたものもあつたが是れは全く誤報である▲尤も男は昨年十二月頃胃腸病か何かを病むで鳥渡巴里の病院に入院して居たが間もなく月末には大元氣で戰場へ向つた相な▲和田大尉はまた英佛間の英蘭海峽を七八回も航海したが此の邊には獨逸の潜航艇が出沒したり機械水雷が流れたり相當危險は起りつゝあるのだ相な▲併し英國のニューカッスルから那威のベルゲンに到る間の北海々上は割合に安全である▲尤も此の間を航海する汽船は那威に國籍を有する船であるけれども双方から毎日一回宛出帆しつゝあるにも拘らず從來一向遭難が起らぬのは珍らしい事である相な

金牌受領 髮を黑く長くつやを出しきらくさして髮の毛を防ぐ妙 本椿香油

常盤

▲太正館 二十六日より新寫眞と差替へたりその主なるもの左の如し △喜劇ダルアシヤの風救、△喜劇ブランスの吉日(全二卷)△西洋活劇帶下(下四)長尺△新派悲劇地(全一)千呎△新派軍事活劇男婦(へ)發廿七場△喜劇木馬の響 肥州猫獸音 チー(全三卷)最長尺△大五郎(全三卷七十三場)

◉暴風警報(三月二十六日午後三時發)▲警文 風强かるべし▲低氣壓位置 天津附近▲低氣壓示度 七百五十六粍▲進行方向 東▲警戒區域 北部及中部

美顏水(びがんすゐ)

■學者の研究發表!!

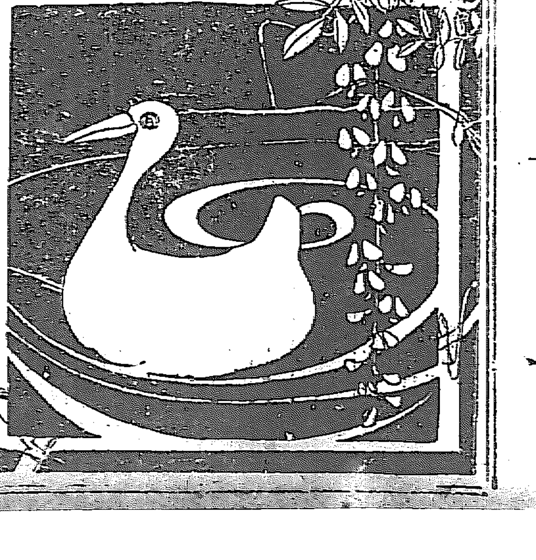
■新美容素の完成■

▲新美容素を完成したる 桃谷研究試驗部

■顧問 丹波藥學博士 山本醫學博士

■主任 桃谷藥學士 小磯藥學士 齋藤藥學士

水鳥



▲垢ヌケする成分

▲アレを防ぐ成分

都育ちの人は一般に田舍育ちの人より垢ヌケして居ます。垢ヌケして居るからこそ都育ちの人は美しいことはれるのです。此「垢ヌケ」が無かつたら田舍出なそでは那麼に美しくなつてゐるのではありません。それ故美しくなるのには垢ヌケが一番に必要だといふ事がお分りになりませう。

所で垢ヌケするのには、皮膚の新陳代謝といつて、陳い汚い表皮を、新しい美しい表皮と入代へる、元來皮膚に具へてゐる作用を一層活潑にさせるのが第一ですが、其作用を極めて活潑にする成分を含んで出來てゐるのが美顏水で、殊に桃谷研究試驗部の學者が發見した新しい美容素を原料に加へてから、美顏水の効力は一層强くなつたので有名です。ですから美顏水を一瓶や二瓶で止めず、朝夕絡けて使つてさへ被居れば、垢ヌケした前に美しい人となられるので、上中流御家庭の御賞用が益々盛です。

▲垢ヌケしたお化粧

次に同じお化粧でも、ヤボな田舍臭いお化粧と、スッキリと垢ヌケして如何にも氣持よく美しいお化粧があるものですが、化粧用美顏水で白粉を溶いて附ければ、白粉のノリやノビが非常に良くなり、思ふ儘美しいお化粧が出來、殊に其化粧振がスッこして垢ヌケのしたホントウに美しいお化粧となりますので、大層重寶がられて居ります。

▲絶對にアレを防ぐには…?

美顏水にはチバリ氣無しに皮膚のアレを防ぐ珍らしい成分も入つて居りますから冬は殊に重寶です。

▲ニキビ吹出物を治すには…?

又ニキビや吹出物を治すのには別に「ニキビとり美顏水」がありますから其れをお薦致します。

宮內省御買上品

千生瓢 (105)

須藤南翠作　筒井年峰畫

決斷（三）

斯らいふ連衡合縦の畫策などが、信雄卿の思慮から迸り出やう所由のない事は、改めて言ふまでもない。殊に入質として預り置く古新を放つて、父子兄弟の恩愛友情を動かし、それに依つて異心の根を斷たしめやうとしたなどは、即ち信雄卿の夢にも思ひ浮ばぬ遠慮であつて此の謀を雄輕に運らした者の、彼の瀧川三郎兵衛雄利である事も、縷々しく叙說するまではあるまい。雄利は古くより秀吉を知つたとけに、常に疑惑の眼を以て秀吉を視てゐたのに、同列の宿老たる津川、岡田、淺井等ともに、大阪城に登つた時、秀吉が特に三老臣ばかりを召し出して、再度の拜謁を申し付け、瀧川自身を顧みなかつたので、出會の席上、正しく秀吉に野心あつて、不意に起つて信雄卿を殪さうとする陰謀を讒したものと、益々猜疑を深うするに至つた。是に於て、左右人なき折を伺ひ、此のよしを詳さに信雄卿に言上したので、思慮に乏しき信雄卿は、火の如くに激怒したのであつた。雄利は詞靜かに之れを宥めて、

『我君、秀吉が毒刃を免がれて、故右大臣殿の御跡目を榮えさせ給はんの御賢慮ならば、唯今鬱々しく御憤り遊さるゝ時機でおざらぬ。其には容易ならぬ御支度の入る事先づ〳〵斯く申す雄利に、御委せ下さりませう』と諫めつ教唆しつするのであつた。

素より遠き慮りのない信雄卿の事であるから、一意に雄利を信頼して何事も其申す處を信じ、津川玄蕃允、岡田長門守、淺井田宮丸等の申す事は、唯だ上の空にて聽くばかりであつた。

此間に大阪と長島との間は、道械なく矛盾を現した。雄利が謀計は著々進んだ。是に於て愈々決心斷行の時機に到達した。

三月三日は上巳の節句であつて、伊勢尾張の家人郎等は、孰れも長島城へ參賀すべき佳例であつた。津川玄蕃尉義冬も、松ヶ島城を發して登城した。是日義冬は、岡田長門守重信、淺井田宮雄政と約して、三人一所に會合した上、仔細に國君の大事を協議し、頃日の秕政をも正すべく北畠家萬全の計をも講じようとしたのであつた。其故に例刻より早めに登城して、拜謁に先ち、見參に入る考へを以て、單身奥殿に伺候しようとした。

今與表の界にある御廊下にさしかかつた時、向ふから一散に駈けて來る者があつた。見ると、それは近習の侍飯田半兵衛であつたので、義冬は歩みを止めて、

『半兵衛、君は常の御座にか』と、聲をかけた。

半兵衛は其には答へないで、近づくまゝに太刀をすらりと引拔いて、

『津川玄蕃、上意おざる』と、一喝して斬り落けた。

不意の刄傷に驚きながら、義冬は小刀の鍔を以て僅に白刄を受け止め

『何とある上意ぢや』

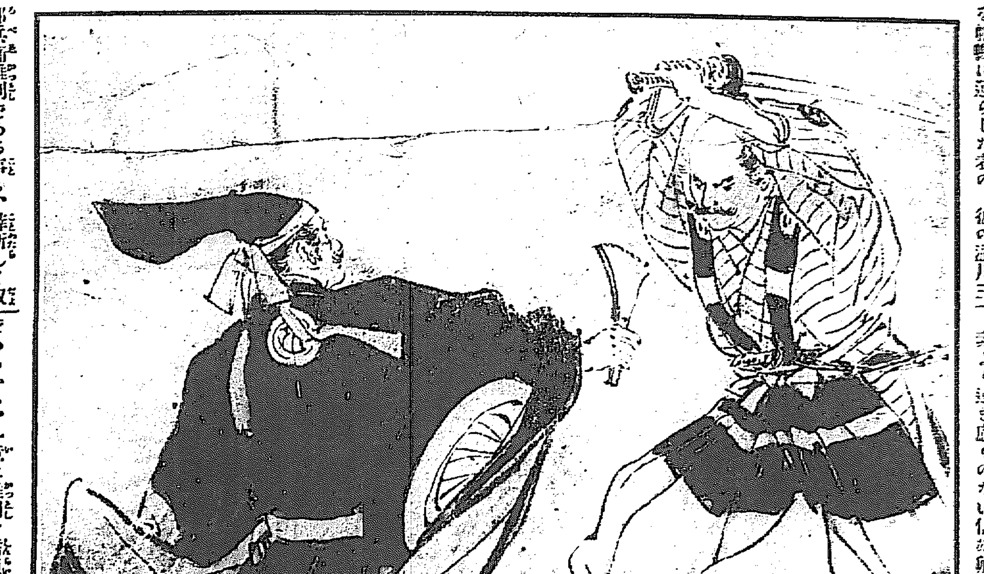
『誅せよとの上意！』

斯う言つて二の太刀を閃かし、右の肩先を斬り落けた。義冬は流石に大國の老臣である。小刀を握り詰めたまゝ、鯉口三寸拔きもせず、威儀を正して嫉視み据ゑた。

半兵衛も其威嚴に壓せられて、たぢ〳〵と後退いたが、再び氣を取り直して、三の太刀に左の肩を袈裟に斬り下げ、義冬が倒るゝ處を、起しも立てず、散々に斬り著けて、遂に其場に殺害した。

津川御誅討の噂が、まだ殿中に行き渡らぬ先に、土方彦三郎は命を受けて岡田重信を、森久三郎は淺井雄政を、無二無三に斬り殺して、共々大命を果したのであつた。

三家老の御誅戮、而も上巳式日の出來事であるので、城中の人心は鼎の如く沸騰した。互ひに心を揣り合つて、今にも喧鬪が行はれさうになつた時、三家老が秀吉に内應したといふ事が明かになつて、漸く人心が鎮つたのであつた。



南草歌譯朝鮮時話　成島鷺村

淡婆姑。淡婆姑。遠渡烟波浩蕩川。來上扶山東萊市。『爾國氣候和而温。何事時欣欣草木繁。風土如斯極佳麗。何事天外欲托根。』淡婆姑答云。吾何捨家國。欲觀俗察風。孤槎來異域。『聞說爾國多財又多珍。今來吾土豈無因。願將黃白與財寶。救此天外飢寒人。』飢寒畢竟在放逸。若附財貨忽散失。吾有良種携得之。移植欲以爲救恤。』山阿鋤荒種子施。日々培養也得宜。指如新芽尖々出。蕉樣大葉展々漸。』好是葉々擇揉銳利有刀可以刻。此味可與蔑角同。蘗中分與黃金色。』含爐金爐紅火香。瀟湘斑竹煙管長。一吸五雲鬟口中出。二吸霄龍黃龍天牛狂。』

白松評曰　絶調

□坪オンドル會詠草

霧（一）

霧の包む月赤ぅ夜釣ぅ冷ゆる舟　盧靜樹
旭強う霧晴るゝ葉煙草の丘　同
霧の渦卷く四里ゥ出水怖住む　同
案内洩れ霧晴れて旭の烽火臺　同
舊主蹤ふ嶺は濃き日の出　同
襞々を霧染む峰の木戸　同
藪を背の河尻黃ぅ霧織れる　同
出水後の霧深う住む一戸なる　同
網曳ける聲のみや朝霧の中　同
尺狂ひも葬衣と霧の流る夜　同
普請餘材を高積む霧の宮廣う　文而玉
友の些言針ぅ霧ぅ冷ゆる夜や　吉岡不二人
霧に接吻く白桔梗垂る朝靜か　同
霧の香が懷し街の灯に濡れて　同
炊ぐ船の灯を懇む霧の橋にて　かよ子

□春の句を募る　句數無制限　[illegible]

□蘆風吟社詠草

竹間選

朝ぼらけ緑も深き吳竹に節面白くうくひすの鳴く　松田 季女
いさゝ川流にそへる吳竹に聲靜らかに鶯の鳴く　大和 昌光
消え殘る小笹の雪を拂ひつゝ鳴く鶯の聲ぞ床しき　植野 治尚
我庭の竹の林の色深かみ聲ものどかに鶯のなく　秀島 孝雄
珍らしく待つかひありて鶯の竹のしげみに聲を聞くかな　岩淵 兵藏
竹藪の中に花さく梅が枝にいつしか來鳴く鶯の聲　林 正長
庭かけの竹の林に珍らしく今鳴く鶯の聲ぞきこゆる　土居 松枝
竹林音を立てずて枝うつりして鶯の鳴く　大塚 すみ
我宿の垣ほの梅も咲きぬるを竹になれつゝ鶯の鳴く　秀島 ふく
窓近き庭の竹村宿として朝いゆるゝうぐひすの聲　宮崎 茂光

春山月

山の端の月も朧に見ゆる哉此一村の花の盛りに　松田 季女
春の山花にはあかで歸るさの道を照らせる朧夜の月　大和 昌光
春霞かすみ渡れる夕空にかけ朧なる山の端の月　植野 治尚
梅の花霞の中に吹き匂ふ山にかゝれる春の夜の月　秀島 孝雄
春霞棚引く峯の夕暮に木の間を出づる朧月かな　林 正長
久方の月も朧に春の夜は高麗の山々霞こめたり　岩淵 兵藏
春山の松の木間に月出て朧にかすむ宵のさけさ　大塚 すみ
見渡せば朧にかすむ山かげの松の林をもるゝ月影　土居 松枝
淡霞の散りくる山は朧にて花にかゝれる春の夜の月　中園 春野
小夜ふけて霞こめたる山の端のかけも朧に見ゆる月哉　秀島 ふく
花の香は霞にこめて山の端をほのかに照らす春の夜の月　宮崎 茂光

新刊紹介

▲滿蒙經濟要覽　滿洲及東部蒙古に於ける經濟及產業事情の梗概を示さむが爲め編纂せられしものにて滿蒙に於ける經濟關係事項一切を網羅し豐富なる統計資料を示し、極めて簡明に集錄しあり滿蒙研究の好參考書なり（非賣品南滿洲鐵道株式會社發行）

▲投機經濟論（與相定太郎著）　各種の投機中最も經濟上重要なる株式と米穀との投機を論究し更に自ら株式米穀界に投ぜんとする者を啓發するのみならず一般國民に投機に關する智識を提供せんとする經濟的良著述なり（定價一圓[illegible]）

▲迷信と宗教　日本、支那、印度、歐洲等各國の迷信に關する例話挿畫を載せ平易に迷信の誤れるを說きたれば一般家庭に備へて教訓談話の材料とし併せて其の信仰を得るの手引草たるべし（一圓三十錢東京市日本橋區本石町三誠堂）

▲市町村雜誌（二六八）　十錢東京市芝區田村町六其社

▲名古屋商業會議所月報（一〇六）　安價不詳名古屋商業會議所

▲恭（九〇）　十八錢大阪市東區今橋五の一四國西發行

▲鑛業新報（一七一）　二十錢東京市麹町區有樂町[illegible]

▲時代評論（三の五六）　十錢神戸市下山手通七の三八二其社

▲日本警察新聞（三六三）　五錢東京市芝區愛宕町二の二四其社

▲江戸（三の二）　江戸に關する種々の考證研究を集めたる雜誌にて[illegible]

▲歐洲戰後の米國人　東西時論第三編にして米國六名士の論を集めたる小冊子なり（十錢[illegible]）

▲名流俳話　現代名家俳人中理想派新派に屬する四十三名の俳話を蒐めたり何處となく俳味の充溢せるは嬉し（六十錢東京市小石川區[illegible]日本俳諧協會）

▲イーグル（一の五）　社會の裏面に隱れたる罪惡を暴露し[illegible]（十一錢東京市芝區虎の門其社）

佛國婦人鐵道從業

▲二萬五千人の從業者　佛國に於て[illegible]

度々報道したが、今日に於ては鐵道の方面に於ても日本の現況などゝは逆に其趣を異にして事務員や掃除[illegible]

米國に於ける一視察者が佛國を巡遊しての報告によると大體に於て其結果は至つて良好だそうである[illegible]

の構内は云ふに及ばず客車に至るまで實に手の屆いたものにて、金具や床の如きはピカ〳〵と光り輝き殊に[illegible]

の機關車の掃除人に採用されたものも少からず彼等の見事なる手際は技師連をして甚しく備足せしめつゝあるさうである[illegible]

が出來ないといふこと、如何しても進行中の汽車を危險視する觀念が少い斷にあるといふが、而も何故に冷[illegible]

といふが、彼等の性質が一般に快活にして男子よりも丁重なるが爲に公衆と接する場合には最も好都合にし[illegible]

歡迎されつゝあるさうである　◎婦人勞働者の新職業　其結果鐵道從業者として成るべく多數の婦人を[illegible]

國國有鐵道に於ても男子從業者に代へられ、婦人の數が五千人の多きに及び、斯の如き傾向を以て進むに於[illegible]

京日案内

▲普通（一回前金三十錢(無割引)四行一回毎に金五錢增）

大猫牛馬等に狂犬病豫防注射實施　京城南山町二の六（電話八七五番）京城狂犬病豫防注射所 496

▲乳母至急雇入たし　卅歳前後にして身體強健なる者　京城本町二丁目　近藤藥店 492

▲時計職工見習入用　年十五歳より十八歳迄市内に確實の保證人要す　京城太平通電話二四二五　向井時計店 494

▲看護婦及見習生募集　希望者は履歴書携帶午前中本人來談あれ　京城壽町　山田醫院 491

◎鑛物分析　金、銀、銅、亞鉛、鐵、アンチモニ、タングステン、水鉛、マンガン礦　太平町二丁目　坂元分析所 460

▲中古十二ポンドレール壹哩賣却す　望みの方は下名へ　電話二三〇九　柴田 467

▲古本買受▼　▲▲御報即時參上　地方即時送金▼▼　京城本町電話二五二七　ウツボヤ書店 560

◎古本品揃底に付無比高價買入　御一報次第即刻參上　電話二七八一番へ　▲京城本町四　書肆[illegible]堂 565

▲番外（一回前金六十錢(無割引)一回毎に金五錢增）　退嬰大雑子鶏専用　牡四歳ポインタ種　技藝優秀の雄大　希望者來談　所驗に應ず　龍山京町十九番地　二松木 463

◎質屋向新築土地家屋倉庫附　外に場所は明治町極要の地　望の方は官吏向朝鮮家屋貸物あり　南山町三巳城館上隣　電話二一〇三番　吾郷 495

▼鑛物各種分析　京城太平町二の一二五　坂本分析所 493

藥學講習所生徒募集　受附三月卅一日迄延期す此際至急申込あれ　規則書は市内有名藥店にあり　長橋通長薫學校内に於て夜間教授 490

▲乳母至急入用　産後三個月以内の者にて年齢廿五歳より卅五歳迄の方に限る　但し市内里子に預けてもよし　京城永樂町交番前　電一三一六番　濱嵜 486

店員入用　年齢十四五歳小學校卒業　市内に確實なる保證人を要す　希望者は履歴書携帶本人來談　京城本町二丁目　明治屋支店 488

▲店員至急入用　年齢十六歳以下市内に確實なる保證人を要す本人來談あれ　京城本町二丁目　日韓書房 485

▲全部空氣輪揃　同じ賃金で乘心地の良い空氣輪　西小門通　電三七七三　一進組車帳場 477

京城春川間自働車　乘合賃金片道四圓　京城發午前七時　春川發午後二時　京城水標橋　電三三八　京春自働車商會　支配人松田壽男 594

◎電話二千五百九十五番◎　はねつぎ　うちみ　くじき　治療　明治町交番東　フランス教會前　荒川仁壽堂 548

皮膚病　花柳病　專門　京城永樂町一　商品陳列館坂の上　須古醫院　電話二一〇三番 551

恩給年金公債立替並買入　櫻井町大正舘向　電話一三一一番　博多屋本店 581

◎花柳病外科專門　▲司生堂醫院　入院隨意　京城南大門通（農工銀行裏） 434

▼愈四月より雜誌代一割上げ　今が御申込の好時機　◎僅の會費で新刊雜誌が其月によめる廻讀會　◎京城本町一　◎松井松榮堂　◎電一三七八 440

▼痳病梅毒妙藥　◎渡邊藥劑師　責任製劑　京城南大門通　電話二五八三番　救世藥舘 446

店員至急數名入用　年齢十六歳以下の者希望者は本人來談　市内に確實なる保證人要　京城本町二丁目　塚谷出張店 469

▼旅館　高等下宿及大勉強　清潔叮嚀　光化門及西大門にて尤便利　電話二六二五番　光化門附近中學前　優翠旅館 472

祝三千號記念　慶北安東　鮮人雜貨卸商　神谷商店

祝三千號記念　慶北安東　日鮮雜貨卸商　金谷支店

祝三千號記念　慶北安東　御料理仕出し　安東館　舘主　米村文平

祝三千號記念　高等洋服調進販賣　安東商會　慶北安東

祝三千號記念　慶北安東　御料理仕出し　朝日亭　野村友三郎

祝三千號記念　慶北道廳御指定　旅館　慶北舘　舘主　廣本久吉

優良種洋蜂　蜜蜂分讓　大邱東雲町（府廳東側）　鈴木

朝夕二回配達は迅速　消毒全乳　牛乳券發賣　大邱種苗場北　花田牧場　電話五五八番

新刊書御案内

書名	著者	定價
◎カイゼルの裏面	グレヤバイン博士	九〇
◎女探訪	加藤謙三郎	七〇
◎和歌の作りやう	歌道普及會編	六〇
◎畫家の妻	黄城 [illegible]	六〇
◎百鬼園の粉粹	瀧澤 素水	三五
◎金與のうろこ	上司 小劔	三五
◎安易生活と食物の活用	[illegible]	六五
◎女學校出の花嫁さん	[illegible]	四〇
◎女は魔性である	[illegible]	八五
◎伊太利から英國へ	[illegible]	一、三〇
◎珠玉鈔	松本 苦味	九五
◎勞働運動の哲學	大杉 榮	三五
◎哲學と文藝	桑木 嚴翼	一、二〇
◎農村生活三十年	篠原 [illegible]	四五
◎農閑出鰐目草	[illegible]	一、二〇
◎初案日用辭典	大町 桂月	八〇
◎教授略案の研究	[illegible]	五〇
◎及第秘訣	江口 國彦	八五
◎工場管理哲學	鈴木恒三郎	一、五〇
◎朝鮮鑛業令		六〇
◎滿洲寫眞帖	[illegible]	一、〇〇
◎李少南書帖	金圭鎭	二、〇〇

大阪屋號書店　京城本町　電話二〇八六　振替京城七二五三番

自動車發着時間表

金泉醴泉間　上り一番　二番　下り一番　二番　[illegible]

▲金泉小荷物運搬仕り候

金泉　織居自動車支部　金泉電話四八番

日本郵船仁川出帆

○大連、太沽、牛莊行
三河丸　四月廿二日　正午出帆
相模丸　四月四日　正午出帆
高砂丸　四月十日　正午出帆

仁川海岸町一丁目　電話十一番　堀回漕部

大阪商船仁川出帆

○外航所經航路（遠洋航路を除く）御乘船の時は五分引を以て運賃切符發賣仕候

○群山、木浦、釜山、關門、神戸、大阪行
×汕頭丸　三月廿八日　午後五時出帆
×天智丸　四月八日
宮島丸　四月五日

○木浦、群山、長崎行（▲は鎮南浦に寄港）
▲信濃川丸　四月三日　後二時出

○鎮南浦、大連行
信濃川丸　三月三十日　後二時出

○大阪直航
安東丸　四月一日　後五時出

○大連直行
×福州丸　四月三日　正午出帆

△○群山、釜山、横濱行
潮州丸　三月卅一日　午後二時出帆
福州丸　四月八日

○清津、浦潮行（元山出帆）
須磨丸　三月廿七日
臺北丸　三月　日
大智丸　三月　日

○上海、基隆、打狗行（大連出帆）
湖北丸　四月一日　後十時
新高丸　三月廿九日　後四時出

仁川切符發賣所　大阪商船會社仁川支店　電話二〇番
京城切符發賣所　内國通運會社支店　電話七〇八
▲中國四國沿岸各港行御客に對し當分門司、大阪迄五割引を以て連絡乘船切符發賣仕候

學校用品　石揃　京城本町　シサキ文具店

贊化病院　京城本町二丁目　電話二四番
入院隨意　毎日五名を限り無料施療す
醫學博士　古城憲治
醫學士　上野亮藏

祝三千號記念　慶北安東　各國自轉車附屬品卸商　牧田自轉車商會　會主　牧田稔

祝三千號記念　慶尚北道浦項　官公吏一同

日韓書房　新版報告
井上十吉著　英和大辭典　特價二圓廿錢　送料十八錢
同　和英大辭典　特價一圓六十錢　送料十二錢
齋藤秀三郎著　英和中辭典　特價二圓廿錢　送料十二錢
郁文舍　辭海　特價一圓八十錢　送料十八錢
金澤博士著　辭林　特價二圓五十錢　送料十八錢
京城本町二丁目　朝鮮振替口座一二一五番　電話一四五・二二七

無代送呈　ばい毒素人治療（しろうとりやう）内容書　ハガキに病名を記し申込め
化學上の新智識を簡易の内服藥に應用せしものにして時日、苦痛、費用をも要せず自宅に於て安全經濟に其效も又偉大なる簡便家庭新自療法なり。
東京本所向島小梅町　東京藥化學研究所

共同汽船仁川出帆

朝鮮總督府命令航路
第一共同丸　芝罘、大連行　三月廿六日後二時入港　三月廿八日前九時出帆
朝鮮西海岸主要各港にて貨客を取扱ひ大連にて青島行定期船に接續し[illegible]
第一瑞鶴丸　城津、清津、浦潮行（元山出帆）　月　日後九時出港
第三[illegible]丸　西湖津沿岸各港を經て雄基行　月　日前八時出帆
阿波國共同汽船株式會社　本町一丁目（電話一〇八番）
仁川代理店　山下回漕部
元山代理店　田口回漕部（電話二四七番）
京城取次店　河村運送店　南大門電話（二六八、二〇一七）

尼崎汽船仁川出帆

○群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行
秀吉丸　三月廿九日後四時出帆
大有丸　三月　日後四時出帆
神代丸　三月　日後四時出帆
蛟龍丸　月　日後四時出帆
君が代丸　月　日後四時出帆
仁川港町二丁目　電話五十九番　高杉回漕部

汽船釜山出帆廣告

○門司、神戸、大阪行　文神丸　四月九日後五時出帆
○元山清津浦潮行　立神丸　三月三十日後十時出帆
○門司、神戸、大阪行　小倉丸　三月廿八日後五時出帆
○元山、城津、浦潮行　小倉丸　四月廿六日後十時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、清津行　第三琴平丸　三月三十日後六時出帆
○門司、宇品、神戸、大阪行　第三琴平丸　四月八日後六時出帆
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行　天兵丸　毎月二日九日十六日廿一日廿六日　午後十時出帆
釜山府埋立新町　本船取扱店　大池回漕部

朝鮮郵船

本社　電話長一九五一[illegible]　京城南大門驛前　松原運送店

全羅丸　四月十二日／京畿丸　四月二日／黄海丸　四月六日／成鏡丸　三月廿七日　釜山發（釜山より各港寄港門司より[illegible]）
平壤丸／忠清丸　四月十二日／四月六日　元山發（城津、清津、雄基行　復航釜山より門司又は長崎行）
穩城丸　三月廿四日／昌平丸　三月　日／鏡城丸　三月廿八日　元山發（元山より各港經由雄基行）
永興丸　毎月廿八回　元山發（北久味、五里浦行）
盈德丸　三月廿八日　釜山發（甘浦、九龍浦、浦項各港寄港盈德行）
江陵丸／襄陽丸　毎日　（釜山・浦項）發（長生浦、方魚津寄港）
三浦丸　四月五日　釜山發（長承浦、巨文、麗水、三千浦、統營寄港）
海州丸／巨濟丸／統營丸　毎日　釜山發（各港經由麗水行）（三日目一回木浦行）
順天丸　三日目毎　木浦發（各港經由麗水より釜山行に連絡）
慶興丸　三月廿五日　木浦發（各港經由濟州島行、四迴）
公州丸　四月一日　木浦發（南多島海列島巡航月三回）
公州丸　三月廿七日　木浦發（各港經由濟州島行（東迴））
宗信丸　三月廿九日　仁川發（海州他各港經由、延坪又は白翎島行）
江原丸　三月廿七日　仁川發（芝罘、大連、青島行）
麗水丸／晋州丸　四月一日／三月廿八日　仁川發（各港經由木浦行）
錦江丸／南陽丸　毎日午前　仁川發（江華島、鎮南浦、海州行）
平安丸　四月五日／三月廿八日　群山發／若松發（大黑山、木浦、門司、若松行）